

1. 秋田県環境保全基金の残高等

		金額 (単位:円)	備 考
①	基金総額 (前年度末基金残高)	332,336,097	
	内訳	うち、国費相当額	166,168,049
		うち、地方負担相当額	166,168,048
		うち、負担附寄附金等	
②	基金運用益	24,657	
③	その他収入	0	
④	負担附寄附金等	0	
⑤	返納額	0	
⑥	基金執行額 (処分額)	34,066,215	内訳は下表のとおり
⑦	基金残高	298,294,539	(=①+②+③+④-⑤-⑥)
	内訳	うち、国費相当額	149,147,270
		うち、地方負担相当額	149,147,269
		うち、負担附寄附金等	

2. 保有割合

0

	次年度の基金類型	取崩型	金額 (単位:円)	備 考
⑧	基金残高		298,294,539	
⑨	事業費 (次年度から終了年度までの見込額)		248,631,000	
⑩	保有割合		1.20	= (⑧/⑨)

保有割合の算定根拠
 運用型：運用益見込額÷事業費（次年度見込額）
 取崩型：基金残高÷事業費（次年度から終了年度までの見込額）

3. 事業一覧

番号	事業名	事業費		備考	達成度	事業費 (次年度)	事業費 (終了まで)	
		合計	一般財源等					基金充当額
1	八郎湖「わがみずうみ」創生事業	1,674,676	0	1,674,676		28.0%	1,805,000	14,595,000
2	環境活動推進事業	2,852,713	0	2,852,713		83.6%	1,208,000	8,456,000
3	ストップ・ザ・温暖化あきた推進事業	11,160,661	348,404	10,812,257		44.0%	7,093,000	49,651,000
4	自然公園美化対策事業	1,281,000	0	1,281,000		25.0%	1,334,000	11,175,000
5	白神山地利活用推進事業	13,595,484	564,144	13,031,340		53.5%	6,088,000	126,712,000
6	生物多様性保全強化事業	211,960	0	211,960		6.0%	223,000	1,568,000
7	野生鳥獣の保護管理と被害防止対策等の普及啓発事業	1,042,224	0	1,042,224	H31新規事業	11.5%	2,782,000	9,674,000
8	リサイクル製品普及啓発事業	543,132	0	543,132	H31新規事業	95.4%	600,000	4,800,000
9	環境あきたエコ活動促進事業	2,616,913	0	2,616,913	H31新規事業	33.3%	2,750,000	22,000,000
10		0						
11		0						
12		0						
13		0						
14		0						
15		0						
合 計		34,978,763	912,548	34,066,215			23,883,000	248,631,000

4. 基金事業の目標に対する達成度

成果指標	環境保全に関する調査における県民の「環境保全活動への参加率」について、2027年度までに70%を達成する。	
	成果実績	68.8%
	目 標 値	70.0%
	達 成 度	98.3%

平成31年度 事業報告書

事業名	八郎湖「わがみずうみ」創生事業	新規・継続区分	継続
事項名	湖沼水質保全計画推進事業（八郎湖環境学習推進）	開始年度	平成29年度
担当部署	環境管理課八郎湖環境対策室	終了年度	令和9年度

1. 目的及び目標（値）

<p>【目的】 八郎湖の環境や水質保全の意識や重要性について流域住民の理解を深め、協働活動等の参加を促進するため、環境学習の機会を広く継続的に提供する。</p> <p>【目標】 湖沼水質保全計画における八郎湖（湖心）のCOD目標値を指標とする。 ※2017年度現在の目標値 ＝第2期湖沼水質保全計画（最終2018年度（平成30年度））の目標値 八郎湖（湖心）のCOD 7.3 ※2019年度～2027年度の目標値は、2019年度に策定する第3期湖沼水質保全計画で定める。</p>

2. 概要

<p>八郎湖の環境や水質について学習し、八郎湖周辺の自然に接する機会を増やすことで八郎湖への理解や関心を深める。また、その機会を継続して提供することで、地域全体の環境保全意識を高めて定着させる。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・八郎湖に関する出前授業や環境学習交流会などを開催する。 ・八郎湖流域の学校等に環境副読本を配付する。 ・水生生物調査を実施する。 ・環境学習や環境保全活動に取り組む団体の意見交換会を開催し、活動の活性化を目指す。
--

3. 根拠法令等

<ul style="list-style-type: none"> ・湖沼水質保全特別措置法 ・八郎湖に係る湖沼水質保全計画

4. 実施内容等

<ul style="list-style-type: none"> ○環境学習の出前授業 八郎湖流域の小学校等を対象として、八郎湖の水質や水生生物等に関する出前講座を民間団体へ委託して実施した。 ○流域小学生等の環境学習交流会 子どもたちを対象に八郎湖をテーマとした交流会を民間団体へ委託して実施した。 ○環境学習副読本の作成配布と水生生物調査 小学校5年生を対象とした環境副読本を作成し、八郎湖流域の全小学校の5年生全員に配布した。また、八郎湖流域の小学校在学児童が水生生物調査等を実施するために必要な物品を購入した。 ○環境団体との意見交換会 八郎湖をフィールドとして活動している団体と、官民協働に係る意見交換を行うため開催。12団体19名が参加。NP ○輝く猪苗代湖をつくる県民会議により、猪苗代湖の特徴や住民活動についての講演と、意見交換を実施した。

平成31年度 事業報告書

事業名	八郎湖「わがみずうみ」創生事業	新規・継続区分	継続
事項名	湖沼水質保全計画推進事業（八郎湖環境学習推進）	開始年度	平成29年度
担当部署	環境管理課八郎湖環境対策室	終了年度	令和9年度

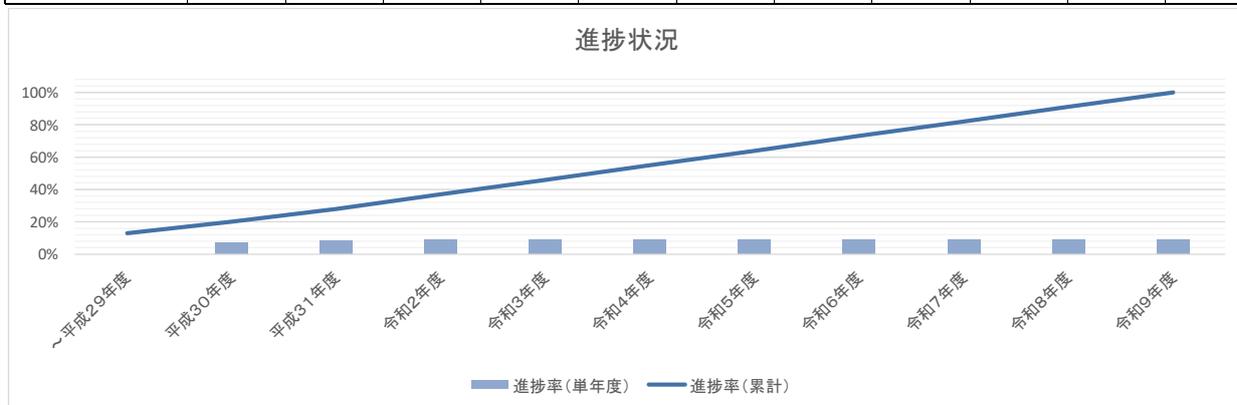
5. 事業費等

	合計	一般財源等	基金充当額	備考
職員旅費	0			
講師旅費	26,780		26,780	講師旅費として
印刷製本費（報償）	84,196		84,196	副読本印刷費等・報償費として
借料	0			
委託費	1,563,700		1,563,700	八郎湖環境学習推進業務委託費として
負担金	0			
合計	1,674,676	0	1,674,676	（単位：円）

年度（単位：千円）	～平成29年度	平成30年度	平成31年度	令和2年度	令和3年度	令和4年度	令和5年度	令和6年度	令和7年度	令和8年度	令和9年度
事業費（単年度）		1,546	1,675	1,805	2,085	2,085	2,085	2,085	2,085	2,085	2,085
事業費（累計）	4,623	6,169	7,844	9,649	11,734	13,819	15,904	17,989	20,074	22,159	24,244

6. 進捗状況等

年度	～平成29年度	平成30年度	平成31年度	令和2年度	令和3年度	令和4年度	令和5年度	令和6年度	令和7年度	令和8年度	令和9年度
進捗率（単年度）		7%	8%	9%	9%	9%	9%	9%	9%	9%	9%
進捗率（累計）	13%	20%	28%	37%	46%	55%	64%	73%	82%	91%	100%



平成 3 1 年度 事業報告書

事業名	環境活動推進事業	新規・継続区分	継続
事項名	気づきのための環境教育推進事業（環境大賞）	開始年度	平成 1 0 年度
担当部署	生活環境部 温暖化対策課	終了年度	令和 9 年度

1. 目的及び目標（値）

環境保全に関する実践活動が他の模範となる個人又は団体を表彰し、その活動事例を広く県民に紹介することにより、県民の環境保全に関する自主的な取組を促進する。

2. 概要

個人又は団体が秋田県内で実践している環境保全全般に関する活動事例を募集対象とし、表彰を行う。

3. 根拠法令等

秋田県環境教育等に関する行動計画
環境教育等による環境保全の取組の促進に関する法律

4. 実施内容等

個人又は団体が秋田県内で実践している環境保全活動の事例を募集したところ、3 部門に 1 7 件の応募があり、選考委員会で 5 者（4 団体、1 個人）を環境大賞受賞者に選定した。
8 月のあきたエコ&リサイクルフェスティバル開会式内において表彰式を行い、賞状並びに副賞（楯）を授与し、広く県民に紹介するなど、県民の自主的な取組の促進を図ることができた。

- ・応募部門内訳
 - 個人部門 3 件、学校教育関係部門 2 件、団体部門 1 2 件
- ・令和元年度環境大賞受賞者
 - 個人部門：加藤啓次郎（秋田市）
「自然環境の保護と限りある資源活用」
 - 学校教育関係部門：該当なし
 - 団体部門：特定非営利活動法人 松林・あらや（秋田市）
「新屋松林再生プロジェクト」
 - 団体部門：秋田市環境活動推進協議会（秋田市）
「環境美化活動とゴミの減量化の推進」
 - 団体部門：本荘海岸林を守る会（由利本荘市）
「持続可能な開発を考えた自然と生活環境の改善」
 - 団体部門：米代川源流自然の会（鹿角市）
「鹿角の自然を守り、その良さを後生に」

平成 3 1 年度 事業報告書

事業名	環境活動推進事業	新規・継続区分	継続
事項名	気づきのための環境教育推進事業（環境大賞）	開始年度	平成 1 0 年度
担当部署	生活環境部 温暖化対策課	終了年度	令和 9 年度

5. 事業費等

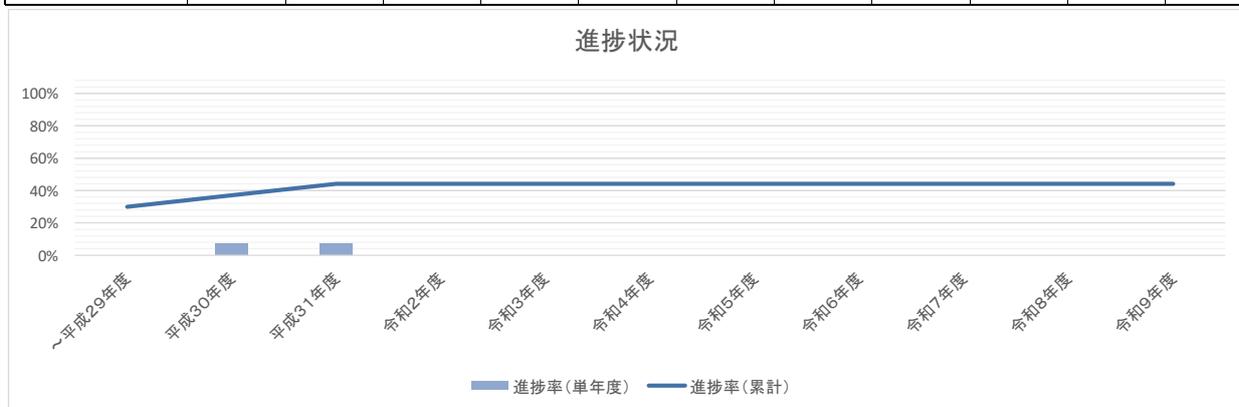
	合計	一般財源等	基金充当額	備考
報償費	84,000		84,000	選考委員謝礼として
その他旅費	18,643		18,643	受賞者旅費として
印刷製本費	21,060		21,060	パンフレット製本費
消耗品費	10,900		10,900	賞状額縁等
役員費	15,430		15,430	賞状筆耕料として
委託費	0			
負担金	0			
合計	150,033	0	150,033	(単位：円)

年度 (単位:千円)	~平成 2 9 年度	平成 3 0 年度	平成 3 1 年度	令和 2 年度	令和 3 年度	令和 4 年度	令和 5 年度	令和 6 年度	令和 7 年度	令和 8 年度	令和 9 年度
事業費 (単年度)		115	151								
事業費 (累計)		115	266	266	266	266	266	266	266	266	266

6. 進捗状況等

※平成30年度の実績が算出されるのは令和3年度の予定

年度	~平成 2 9 年度	平成 3 0 年度	平成 3 1 年度	令和 2 年度	令和 3 年度	令和 4 年度	令和 5 年度	令和 6 年度	令和 7 年度	令和 8 年度	令和 9 年度
進捗率 (単年度)		7%	7%								
進捗率 (累計)	30%	37%	44%	44%	44%	44%	44%	44%	44%	44%	44%



平成31年度 事業報告書

事業名	環境活動推進事業	新規・継続区分	継続
事項名	気づきのための環境教育推進事業（こどもエコクラブ支援事業）	開始年度	平成14年度
担当部署	生活環境部 温暖化対策課	終了年度	令和9年度

1. 目的及び目標（値）

こどもエコクラブの登録人数の増加を図るとともに、活動意欲を高揚させる。

2. 概要

- ・こどもエコクラブのグッズの利用により、こどもエコクラブの登録人数の増加を図る。
- ・こどもエコクラブの活動の一環である壁新聞等の作成を通じて、全国フェスティバルに参加に選抜された団体を支援することで活動意欲を高揚させる。

3. 根拠法令等

秋田県環境教育等に関する行動計画
 環境教育等による環境保全の取組の促進に関する法律
 秋田県環境基本計画

4. 実施内容等

(1) こどもエコクラブグッズの提供
 県オリジナルバンダナを新規登録者に提供した。

(2) こどもエコクラブ活動報告集の作成
 令和元年度に登録されているこどもエコクラブからの活動報告をとりまとめ、こどもエコクラブ活動報告集2019を800部作成し、こどもエコクラブ、小・中学校、幼稚園等へ送付した。

※令和2年3月21日（土）に開催予定であった「こどもエコクラブ全国フェスティバル」が新型コロナウイルス感染拡大の影響により中止となったため、派遣予定であった4名分の旅費（＝基金充当予定分）が不用額となった。

平成 3 1 年度 事業報告書

事業名	環境活動推進事業	新規・継続区分	継続
事項名	気づきのための環境教育推進事業（こどもエコクラブ支援事業）	開始年度	平成 1 4 年度
担当部署	生活環境部 温暖化対策課	終了年度	令和 9 年度

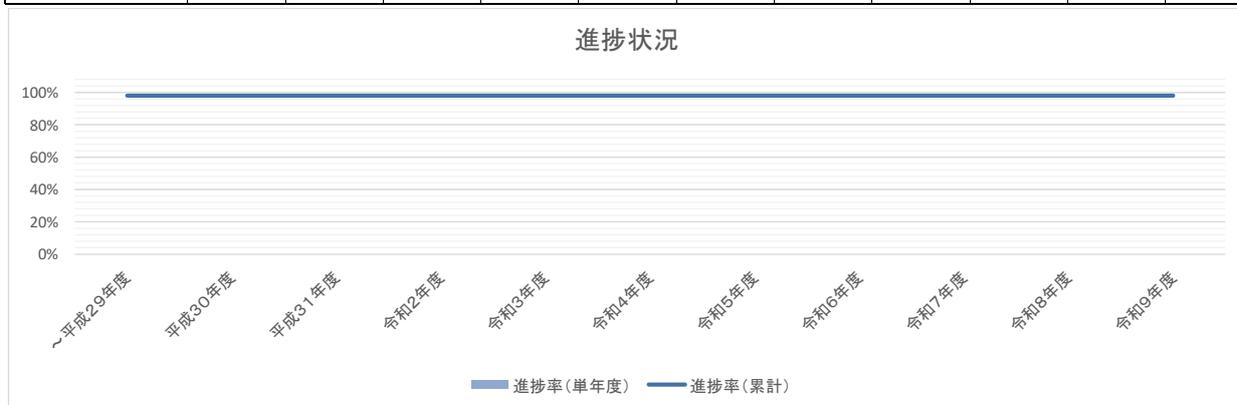
5. 事業費等

	合計	一般財源等	基金充当額	備考
職員旅費	46,550	46,550		
その他旅費	0		0	こどもエコクラブ全国フェスティバル派遣旅費（中止）
印刷製本費	0			
借料	0			
委託費	0			
負担金	0			
合計	46,550	46,550	0	(単位：円)

年度 (単位:千円)	~平成 2 9 年度	平成 3 0 年度	平成 3 1 年度	令和 2 年度	令和 3 年度	令和 4 年度	令和 5 年度	令和 6 年度	令和 7 年度	令和 8 年度	令和 9 年度
事業費 (単年度)		47	47								
事業費 (累計)		47	94	94	94	94	94	94	94	94	94

6. 進捗状況等

年度	~平成 2 9 年度	平成 3 0 年度	平成 3 1 年度	令和 2 年度	令和 3 年度	令和 4 年度	令和 5 年度	令和 6 年度	令和 7 年度	令和 8 年度	令和 9 年度
進捗率 (単年度)		0%	0%								
進捗率 (累計)	98%	98%	98%	98%	98%	98%	98%	98%	98%	98%	98%



平成31年度 事業報告書

事業名	環境活動推進事業	新規・継続区分	継続
事項名	気づきのための環境教育推進事業（学校環境教育支援事業）	開始年度	平成15年度
担当部署	生活環境部 温暖化対策課	終了年度	令和9年度

1. 目的及び目標（値）

学校における環境教育・環境学習の推進と充実を図る。

2. 概要

- ・北東北三県（青森・岩手・秋田）が合同で作成する共通環境ワークブック（バインダー式教材、ワークシート、児童用冊子）を教師及び児童へ提供し、環境教育の推進を図る。
- ・各市町村教育委員会の推薦により、10校程度を学校環境教育支援校として指定し、環境教育・環境学習に係る物品の提供を行い環境教育の充実を図る。

3. 根拠法令等

秋田県環境教育等に関する行動計画
 環境教育等による環境保全の取組の促進に関する法律
 秋田県環境基本条例

4. 実施内容等

(1) 環境教育支援校への物品の提供
 県内各小中学校に応募を募り、大館市立成章小学校、大館市立長木小学校、秋田市立旭川小学校、秋田市立秋田東中学校、秋田県立秋田南高校中等部校、由利本荘市立西目中学校、にかほ市立平沢小学校、美郷町立美郷中学校、横手市立雄物川小学校、湯沢市立湯沢南中学校の10校を環境教育支援校に指定した。各校から要望のあった環境教育・環境学習に係る物品を提供し、環境学習の支援を行った。

(2) 北東北三県環境教材の作成
 環境学習教材「北東北三県共通環境ワークブック」について、児童用冊子を県内の小学5年生全員に配布した（7,711部）。また、当該ワークブックの教師用バインダー式教材、ワークシート、児童用冊子を県ウェブページに掲載した。

平成 3 1 年度 事業報告書

事業名	環境活動推進事業	新規・継続区分	継続
事項名	気づきのための環境教育推進事業（学校環境教育支援事業）	開始年度	平成 1 5 年度
担当部署	生活環境部 温暖化対策課	終了年度	令和 9 年度

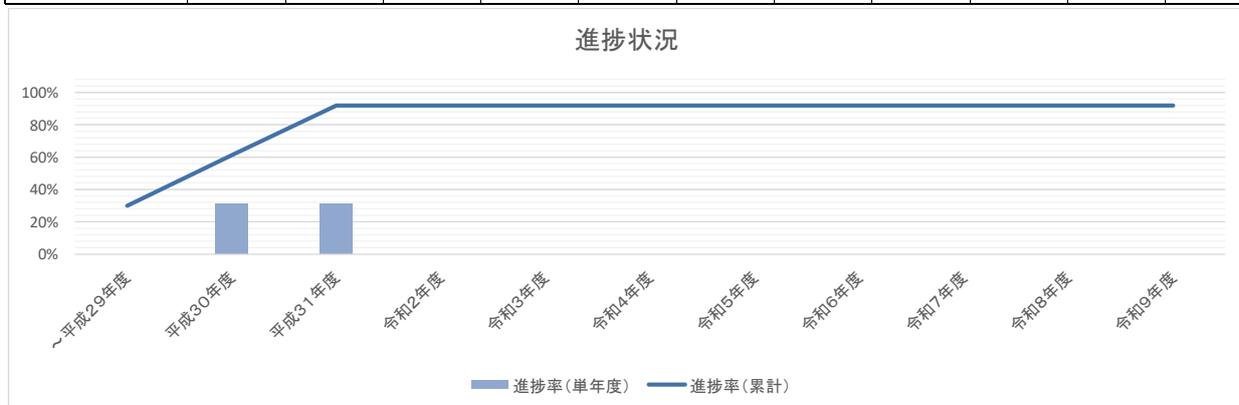
5. 事業費等

	合計	一般財源等	基金充当額	備考
職員旅費	0			
講師旅費	0			
需要費	537,166		537,166	環境ワークブック印刷製本費等
その他の消耗品	0			
委託費	0			
役務費	101,034		101,034	
合計	638,200	0	638,200	(単位：円)

年度 (単位:千円)	~平成 2 9 年度	平成 3 0 年度	平成 3 1 年度	令和 2 年度	令和 3 年度	令和 4 年度	令和 5 年度	令和 6 年度	令和 7 年度	令和 8 年度	令和 9 年度
事業費 (単年度)		494	639								
事業費 (累計)		494	1,133	1,133	1,133	1,133	1,133	1,133	1,133	1,133	1,133

6. 進捗状況等

年度	~平成 2 9 年度	平成 3 0 年度	平成 3 1 年度	令和 2 年度	令和 3 年度	令和 4 年度	令和 5 年度	令和 6 年度	令和 7 年度	令和 8 年度	令和 9 年度
進捗率 (単年度)		31%	31%								
進捗率 (累計)	30%	61%	92%	92%	92%	92%	92%	92%	92%	92%	92%



平成31年度 事業報告書

事業名	環境活動推進事業	新規・継続区分	継続
事項名	気づきのための環境教育推進事業（見てわかる温暖化防止活動事業）	開始年度	平成30年度
担当部署	生活環境部 温暖化対策課	終了年度	令和9年度

1. 目的及び目標（値）

- 目的
平成29年8月6日に「ストップ・ザ・温暖化あきた キックオフイベント」を開催し、県民一人ひとりに「できることから始めよう」という意識が醸成されつつあるため、引き続き県民一人ひとりの取組を促進し、温室効果ガス排出量の削減を図る。
- 目標
秋田県における温室効果ガス排出量を2030年度に2013年度比で26%削減する。

2. 概要

手軽にできる取組を紹介するストーリー性のあるテレビCMを制作・放映の上、県民一人ひとりに「できることから始めよう」という意識を醸成し、具体的な行動を促進する普及啓発を行う。

3. 根拠法令等

- 地球温暖化対策の推進に関する法律
- 秋田県地球温暖化対策推進条例
- 秋田県地球温暖化対策推進計画

4. 実施内容等

手軽にできる取組を紹介するストーリー性のあるテレビCMを制作・放映した。

- ・放送時期：地球温暖化防止月間の12月
- ・実施方法：30秒CMを制作し、県内民放3社で放映（CM制作及び放送は、企画提案競技による随意契約）
YouTube動画広告の配信。
- ・コンセプト：温暖化防止活動の必要性や、身近で手軽にできる取組について分かりやすく伝え、自主的な取組を促した。

平成31年度 事業報告書

事業名	環境活動推進事業	新規・継続区分	継続
事項名	気づきのための環境教育推進事業（見てわかる温暖化防止活動事業）	開始年度	平成30年度
担当部署	生活環境部 温暖化対策課	終了年度	令和9年度

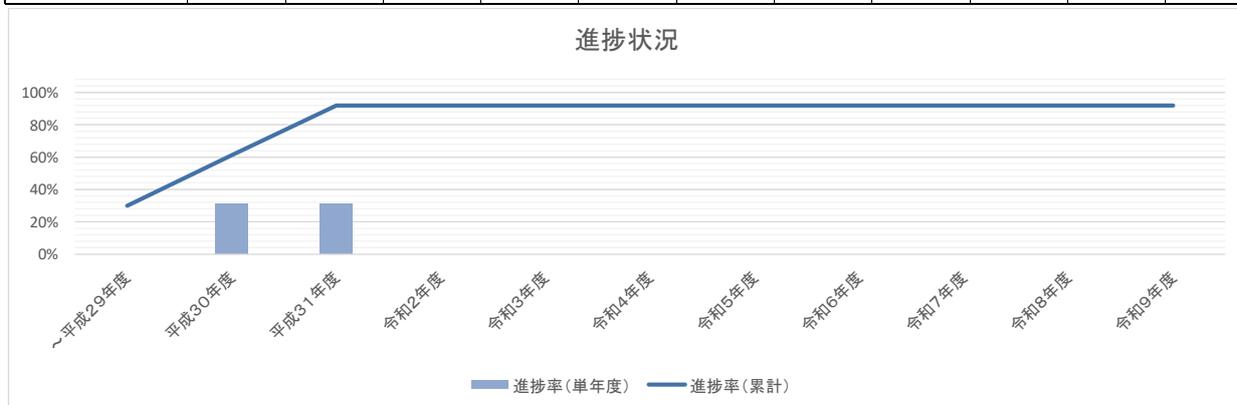
5. 事業費等

	合計	一般財源等	基金充当額	備考
職員旅費	0			
講師旅費	0			
印刷製本費	0			
借料	0			
委託費	2,025,980		2,025,980	温暖化防止普及啓発委託事業費として
負担金	0			
合計	2,025,980	0	2,025,980	(単位：円)

年度 (単位:千円)	~平成29年度	平成30年度	平成31年度	令和2年度	令和3年度	令和4年度	令和5年度	令和6年度	令和7年度	令和8年度	令和9年度
事業費 (単年度)		1,991	2,026								
事業費 (累計)		1,991	4,017	4,017	4,017	4,017	4,017	4,017	4,017	4,017	4,017

6. 進捗状況等

年度	~平成29年度	平成30年度	平成31年度	令和2年度	令和3年度	令和4年度	令和5年度	令和6年度	令和7年度	令和8年度	令和9年度
進捗率 (単年度)		31%	31%								
進捗率 (累計)	30%	61%	92%	92%	92%	92%	92%	92%	92%	92%	92%



平成 3 1 年度 事業報告書

事業名	環境活動推進事業	新規・継続区分	継続
事項名	行動のための協働促進事業（あきた省エネ住宅普及促進協働事業）	開始年度	平成29年度
担当部署	生活環境部 温暖化対策課	終了年度	令和9年度

1. 目的及び目標（値）

秋田県における二酸化炭素排出量のうち、家庭からの排出量が約2割を占めており、特に冬季は暖房に由来する二酸化炭素の排出量が増加する。これを削減するためには、高性能の省エネ住宅の普及を促進させることが重要である。このことから、住宅メーカーと協働して省エネ住宅の普及啓発を図る。

2. 概要

県内住宅メーカーと省エネ住宅の普及啓発にかかる協定を締結する。また、省エネ住宅のポイントをわかりやすく解説したパンフレットを作成し、協定締結者の協力により、住宅展示場、モデルハウス等で来場者に配布する。

3. 根拠法令等

- 地球温暖化対策の推進に関する法律
- 秋田県地球温暖化対策推進条例
- 秋田県地球温暖化対策推進計画

4. 実施内容等

- 省エネ住宅に関するパンフレットの作成及び配布
 - ・ A4版フルカラー両面8ページのパンフレットを2,000枚作成。
 - ・ 「あきた省エネ住宅普及促進協定」16社をはじめ住宅展示場等で配布を実施した。

平成 3 1 年度 事業報告書

事業名	環境活動推進事業	新規・継続区分	継続
事項名	行動のための協働促進事業（あきた省エネ住宅普及促進協働事業）	開始年度	平成29年度
担当部署	生活環境部 温暖化対策課	終了年度	令和 9 年度

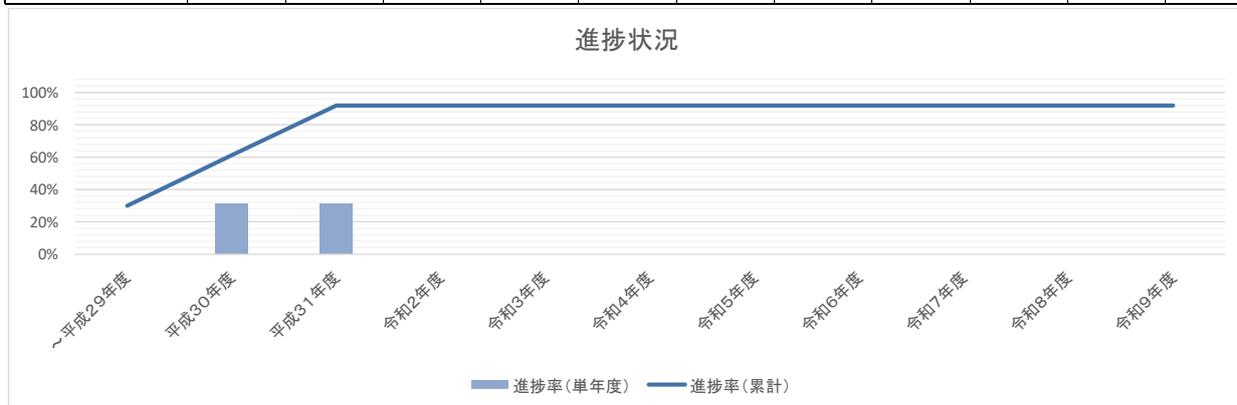
5. 事業費等

	合計	一般財源等	基金充当額	備考
職員旅費	0			
講師旅費	0			
印刷製本費	38,500		38,500	パンフレット印刷製本費
借料	0			
委託費	0			
負担金	0			
合計	38,500	0	38,500	(単位：円)

年度 (単位:千円)	~平成 29 年度	平成 3 0 年度	平成 3 1 年度	令和 2 年度	令和 3 年度	令和 4 年度	令和 5 年度	令和 6 年度	令和 7 年度	令和 8 年度	令和 9 年度
事業費 (単年度)		38	39								
事業費 (累計)		38	77	77	77	77	77	77	77	77	77

6. 進捗状況等

年度	~平成 29 年度	平成 3 0 年度	平成 3 1 年度	令和 2 年度	令和 3 年度	令和 4 年度	令和 5 年度	令和 6 年度	令和 7 年度	令和 8 年度	令和 9 年度
進捗率 (単年度)		31%	31%								
進捗率 (累計)	30%	61%	92%	92%	92%	92%	92%	92%	92%	92%	92%



平成 3 1 年度 事業報告書

事業名	ストップ・ザ・温暖化あきた推進事業	新規・継続区分	継続
事項名	県民運動体制構築事業（秋田県地球温暖化対策推進計画推進費）	開始年度	平成 2 9 年度
担当部署	生活環境部 温暖化対策課	終了年度	令和 9 年

1. 目的及び目標（値）

【目的】

環境問題に関心、意欲が高い県民や団体及び事業者などの様々な主体と連携する場を創出し、活動の実践につなげること等により、県民総参加運動の体制を構築する。

【目標】

秋田県における温室効果ガス排出量を、森林吸収量を除いた省エネ等による手法で2027年度に2013年度比で981千トン-CO2削減する。

※第2次秋田県地球温暖化対策推進計画においては、温室効果ガス排出量を森林吸収量を含めた省エネ等による手法で2030年度に2013年度比で26%（2,638千トン-CO2）削減することを目標としている。

2. 概要

第2次秋田県地球温暖化対策推進計画に定める施策を着実に推進する。

3. 根拠法令等

- ・地球温暖化対策の推進に関する法律
- ・秋田県地球温暖化対策推進条例
- ・第2次秋田県地球温暖化対策推進計画
- ・秋田県環境基本条例
- ・第2次秋田県環境基本計画

4. 実施内容等

北海道・北東北地球温暖化対策推進本部幹事会への参加、全国会議やブロック会議等への出席、国の施策に関する情報収集、市町村実行計画策定のための連絡調整等を実施。

第2次秋田県地球温暖化対策推進計画の紹介パンフレット（平成29年作成「よく分かる第2次秋田県地球温暖化対策推進計画」）をベースにした県民向け啓発用動画を作成し、県ウェブサイトに掲載する他、温暖化対策課が作成・配布するチラシ・冊子、一般的に県が発行する刊行物などにURLを記載し、広く県民に周知し、啓発を図った。

平成31年度 事業報告書

事業名	ストップ・ザ・温暖化あきた推進事業	新規・継続区分	継続
事項名	県民運動体制構築事業（秋田県地球温暖化対策推進計画推進費）	開始年度	平成29年度
担当部署	生活環境部 温暖化対策課	終了年度	令和9年

5. 事業費等

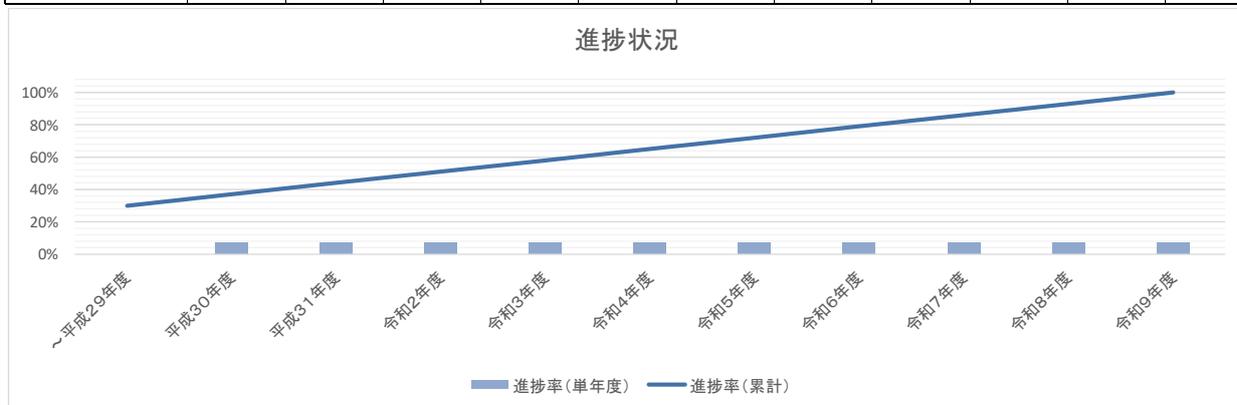
	合計	一般財源等	基金充当額	備考
職員旅費	324,404	324,404	0	
講師旅費				
その他消耗品費	24,000	24,000	0	
借料				
委託費	781,315		781,315	啓発用動画制作委託費として
その他	0			
合計	1,129,719	348,404	781,315	(単位：円)

年度 (単位:千円)	~平成29年度	平成30年度	平成31年度	令和2年度	令和3年度	令和4年度	令和5年度	令和6年度	令和7年度	令和8年度	令和9年度
事業費 (単年度)		381	1,130	2,646	2,646	2,646	2,646	2,646	2,646	2,646	2,646
事業費 (累計)	901	1,282	2,412	5,058	7,704	10,350	12,996	15,642	18,288	20,934	23,580

6. 進捗状況等

※平成30年度の実績が算出されるのは令和3年度の予定

年度	~平成29年度	平成30年度	平成31年度	令和2年度	令和3年度	令和4年度	令和5年度	令和6年度	令和7年度	令和8年度	令和9年度
進捗率 (単年度)		7%	7%	7%	7%	7%	7%	7%	7%	7%	7%
進捗率 (累計)	30%	37%	44%	51%	58%	65%	72%	79%	86%	93%	100%



平成31年度 事業報告書

事業名	ストップ・ザ・温暖化あきた推進事業	新規・継続区分	継続
事項名	エコマイスター協議会支援事業	開始年度	平成29年度
担当部署	温暖化対策課	終了年度	令和9年度

1. 目的及び目標（値）

【目的】

環境問題に関心、意欲が高い県民や団体及び事業者などの様々な主体と連携する場を創出し、活動の実践につなげること等により、県民総参加運動の体制を構築する。

【目標】

秋田県における温室効果ガス排出量を、森林吸収量を除いた省エネ等による手法で2027年度に2013年度比で981千トン-CO2削減する。

※第2次秋田県地球温暖化対策推進計画においては、温室効果ガス排出量を森林吸収量を含めた省エネ等による手法で2030年度に2013年度比で26%（2,638千トン-CO2）削減することを目標としている。

2. 概要

地域の環境保全活動のリーダーとして県から登録を受けている「あきたエコマイスター」からなる協議会に対し、一般県民向けの環境学習会や施設見学会等の開催を委託することにより、県民の環境保全意識の醸成を図る。

3. 根拠法令等

- ・地球温暖化対策の推進に関する法律
- ・気候変動適応法
- ・秋田県地球温暖化対策推進条例
- ・第2次秋田県地球温暖化対策推進計画
- ・秋田県環境基本条例
- ・第2次秋田県環境基本計画

4. 実施内容等

- (1) あきたエコマイスター県北・県央・県南の3協議会に対し、一般県民向けの環境学習会や施設見学会等の開催について委託をした。
実績：7事業（クリーンアップ活動、普及啓発活動、研修会等を実施）、計177名参加
- (2) 3協議会による「協議会代表者会議」を開催し、他地域の環境の取組について学ぶ機会を設け、委託内容等に反映させた。
- (3) あきたエコマイスターとして登録している方に、あきたエコマイスター腕章とバッジを配布し、地域の環境保全活動のリーダーとして登録されている方であることを周知。

平成31年度 事業報告書

事業名	ストップ・ザ・温暖化あきた推進事業	新規・継続区分	継続
事項名	エコマイスター協議会支援事業	開始年度	平成29年度
担当部署	温暖化対策課	終了年度	令和9年度

5. 事業費等

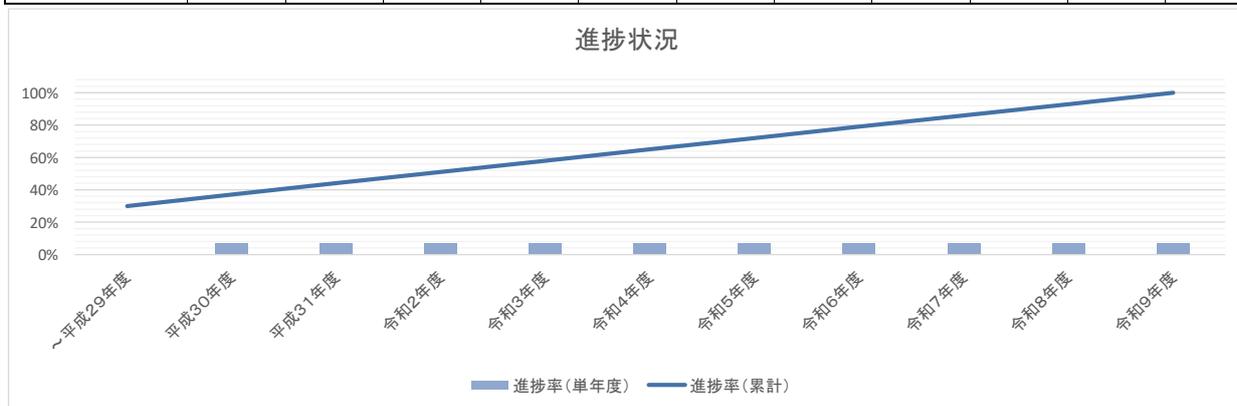
	合計	一般財源等	基金充当額	備考
職員旅費				
講師旅費	23,533	0	23,533	協議会代表者会議旅費 3人×3協議会
印刷製本費				
借料				
委託費	725,600	0	725,600	エコマイスター3協議会活動委託 県北：233,640 円 県央：258,320 円 県南：233,640 円 計725,600 円
負担金				
合計	749,133	0	749,133	(単位：円)

年度 (単位:千円)	~平成29年度	平成30年度	平成31年度	令和2年度	令和3年度	令和4年度	令和5年度	令和6年度	令和7年度	令和8年度	令和9年度
事業費 (単年度)		769	750	811	811	811	811	811	811	811	811
事業費 (累計)	0	769	1,519	2,330	3,141	3,952	4,763	5,574	6,385	7,196	8,007

6. 進捗状況等

※目標値である秋田県の温室効果ガス排出量については、集計等の関係上、当該年度の結果が3年後に判明する。そのため、当該計画における進捗率としては、当該年度に判明した3年前の実績値を記入する。
(平成29年度→平成26年度の実績値)

年度	~平成29年度	平成30年度	平成31年度	令和2年度	令和3年度	令和4年度	令和5年度	令和6年度	令和7年度	令和8年度	令和9年度
進捗率 (単年度)		7%	7%	7%	7%	7%	7%	7%	7%	7%	7%
進捗率 (累計)	30%	37%	44%	51%	58%	65%	72%	79%	86%	93%	100%



平成31年度 事業報告書

事業名	ストップ・ザ・温暖化あきた推進事業	新規・継続区分	継続
事項名	県民運動体制構築事業(あきた環境学習応援隊事業)	開始年度	平成29年度
担当部署	温暖化対策課	終了年度	令和9年度

1. 目的及び目標(値)

【目的】

環境問題に関心、意欲が高い県民や団体及び事業者などの様々な主体と連携する場を創出し、活動の実践につなげること等により、県民総参加運動の体制を構築する。

【目標】

秋田県における温室効果ガス排出量を、森林吸収量を除いた省エネ等による手法で2027年度に2013年度比で981千トン-CO2削減する。

※第2次秋田県地球温暖化対策推進計画においては、温室効果ガス排出量を森林吸収量を含めた省エネ等による手法で2030年度に2013年度比で26% (2,638千トン-CO2) 削減することを目標としている。

2. 概要

県内の環境学習機会の充実・拡大による、地域の環境保全活動活性化を図るため、講師派遣及び教材の提供並びに施設見学の受入れ等を実施する県内の事業者等を「あきた環境学習応援隊」として登録し、情報を県民に提供する。提供することに伴い、県内の環境学習機会向上により、県民の環境保全意識醸成を図る。

3. 根拠法令等

- ・地球温暖化対策の推進に関する法律
- ・秋田県地球温暖化対策推進条例
- ・第2次秋田県地球温暖化対策推進計画
- ・秋田県環境基本条例
- ・第2次秋田県環境基本計画

4. 実施内容等

あきた環境学習応援隊の情報について、次の手法により県民に提供し、県民の環境学習機会充実・拡大による地域の環境保全活動活性化を図った。

- (1) 情報DVDの作成・配布(500枚)
- (2) 情報冊子作成・配布(6,000部、A4、26ページ、カラー)

【掲載内容】・あきた環境学習応援隊制度の紹介

- ・収録企業団体の情報、活動内容(講師派遣や施設見学の内容)について紹介

【配布先】学校関係、市町村、各関係団体等

平成31年度 事業報告書

事業名	ストップ・ザ・温暖化あきた推進事業	新規・継続区分	継続
事項名	県民運動体制構築事業(あきた環境学習応援隊事業)	開始年度	平成29年度
担当部署	温暖化対策課	終了年度	令和9年度

5. 事業費等

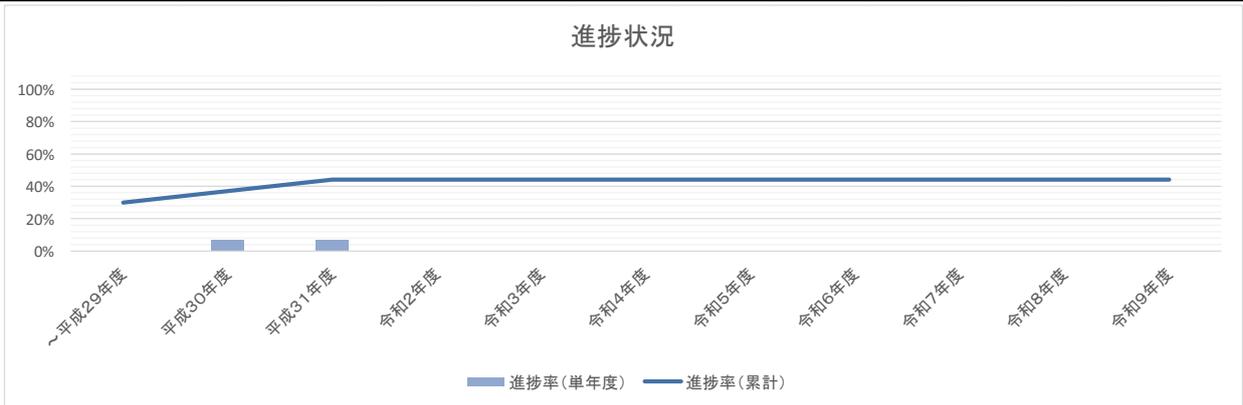
	合計	一般財源等	基金充当額	備考
職員旅費	0			
講師旅費	0			
印刷製本費	501,588	0	501,588	情報冊子制作 (A4、36頁、カラー) 67円×6,000部×1.10=442,200円 情報冊子送付料 小中高等学校、公的機関、団体等 84円×707箇所=59,388円
借料	0			
委託費	1,188,000	0	1,188,000	取材・撮影費 45,000円×7回=315,000 映像編集費 40,000円×7回=280,000 ナレーター費 30,000円 DVDジャケット、盤面デザイン費 20,000円 情報冊子デザイン、編集費 50,000円 DVDプリント費 (メディア・ケース含む) 600円×500セット=300,000円 規格運営費 (進行台本作成、取材調整等含む) 85,000円
負担金	0			
合計	1,689,588	0	1,689,588	(単位:円)

年度 (単位:千円)	~平成29年度	平成30年度	平成31年度	令和2年度	令和3年度	令和4年度	令和5年度	令和6年度	令和7年度	令和8年度	令和9年度
事業費 (単年度)		1,950	1,690								
事業費 (累計)	0	1,950	3,640								

6. 進捗状況等

※目標値である秋田県の温室効果ガス排出量については、集計等の関係上、当該年度の結果が3年後に判明する。そのため、当該計画における進捗率としては、当該年度に判明した3年前の実績値を記入する。
(平成29年度→平成26年度の実績値)

年度	~平成29年度	平成30年度	平成31年度	令和2年度	令和3年度	令和4年度	令和5年度	令和6年度	令和7年度	令和8年度	令和9年度
進捗率 (単年度)		7%	7%								
進捗率 (累計)	30%	37%	44%	44%	44%	44%	44%	44%	44%	44%	44%



平成31年度 事業報告書

事業名	ストップ・ザ・温暖化あきた推進事業	新規・継続区分	継続
事項名	県民運動体制構築事業(協働による環境活動促進モデル事業)	開始年度	平成29年度
担当部署	温暖化対策課	終了年度	令和9年度

1. 目的及び目標 (値)

<p>【目的】 環境問題に関心、意欲が高い県民や団体及び事業者などの様々な主体と連携する場を創出し、活動の実践につなげること等により、県民総参加運動の体制を構築する。</p> <p>【目標】 秋田県における温室効果ガス排出量を、森林吸収量を除いた省エネ等による手法で2027年度に2013年度比で981千トン-CO2削減する。 ※第2次秋田県地球温暖化対策推進計画においては、温室効果ガス排出量を森林吸収量を含めた省エネ等による手法で2030年度に2013年度比で26% (2,638千トン-CO2) 削減することを目標としている。</p>
--

2. 概要

<p>地域ぐるみの環境保全活動に関する取組を促進するため、市町村等と協働により、地域住民主催の環境学習会等の開催について支援し、学習したこと等に基づき、地域ぐるみの環境保全活動を実践してもらおう。取組内容等について、県内のモデル例として、パンフレットの作成・配布等により、他の地域への横展開を図る。</p>

3. 根拠法令等

<ul style="list-style-type: none"> ・地球温暖化対策の推進に関する法律 ・秋田県地球温暖化対策推進条例 ・第2次秋田県地球温暖化対策推進計画 ・秋田県環境基本条例 ・第2次秋田県環境基本計画

4. 実施内容等

<p>○対象地域 (3地域)</p> <ul style="list-style-type: none"> ◆大仙市 <ul style="list-style-type: none"> ・小貫地区 (学習会①: 8/3【参加18名】、学習会②: 8/24【参加16名】) ・余目地区 (学習会①: 10/19【参加28名】、学習会②: 11/9【参加23名】) ◆湯沢市 <ul style="list-style-type: none"> ・愛宕地区 (学習会①: 10/2【参加25名】、学習会②: 11/7【参加20名】) <p>○モデル地域の取組についてまとめたチラシ (3,700部)・パンフレット制作 (300部)</p> <p>○「地域コミュニティ活性化セミナー～地域活動と環境保全を考える～」開催 モデル地域の取り組み発表や、他県の事例について講演いただく全体セミナーを開催し、モデル地域の更なる環境活動促進及び参加者の環境活動意識の醸成を図る。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・日 時: 令和2年1月18日 (土) 13時30分～16時00分 ・参加者: 62名
--

平成31年度 事業報告書

事業名	ストップ・ザ・温暖化あきた推進事業	新規・継続区分	継続
事項名	県民運動体制構築事業(協働による環境活動促進モデル事業)	開始年度	平成29年度
担当部署	温暖化対策課	終了年度	令和9年度

5. 事業費等

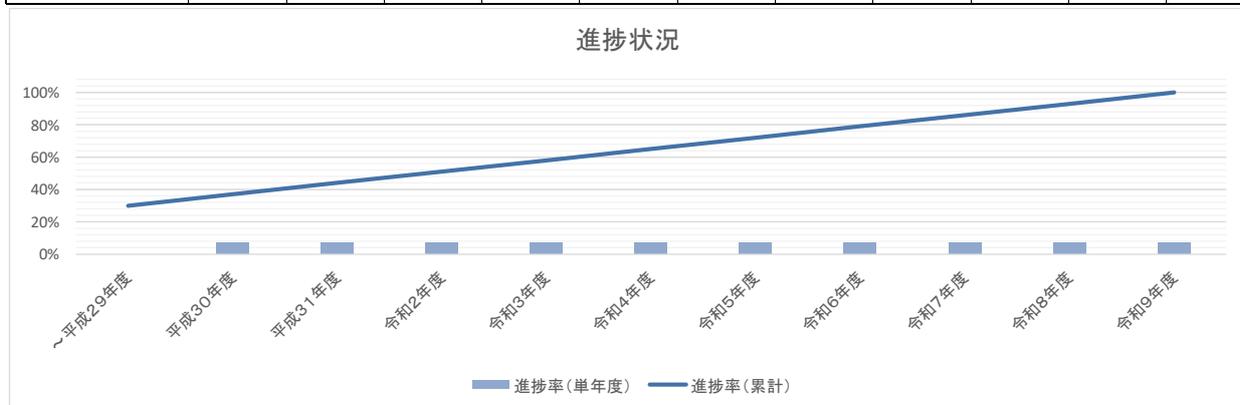
	合計	一般財源等	基金充当額	備考
職員旅費	0			
講師旅費	31,836		31,836	講師旅費として
講師謝金	165,000		165,000	講師謝金として
印刷製本費	55,385		55,385	パンフレット印刷費
委託費	0			
使用料	100,000		100,000	会場使用料として
合計	352,221	0	352,221	(単位:円)

年度(単位:千円)	~平成29年度	平成30年度	平成31年度	令和2年度	令和3年度	令和4年度	令和5年度	令和6年度	令和7年度	令和8年度	令和9年度
事業費(単年度)		398	441	650	650	650	650	650	650	650	650
事業費(累計)		398	839	1,489	2,139	2,789	3,439	4,089	4,739	5,389	6,039

6. 進捗状況等

※平成31年度の秋田県の温室効果ガス排出量が算出されるのは令和4年度の予定。

年度	~平成29年度	平成30年度	平成31年度	令和2年度	令和3年度	令和4年度	令和5年度	令和6年度	令和7年度	令和8年度	令和9年度
進捗率(単年度)		7%	7%	7%	7%	7%	7%	7%	7%	7%	7%
進捗率(累計)	30%	37%	44%	51%	58%	65%	72%	79%	86%	93%	100%



平成31年度 事業報告書

事業名	ストップ・ザ・温暖化あきた推進事業	新規・継続区分	継続
事項名	地域センター強化支援事業(温暖化対策人材育成)	開始年度	平成29年度
担当部署	温暖化対策課	終了年度	令和9年度

1. 目的及び目標 (値)

【目的】

秋田県地球温暖化防止活動推進センターの活動を支援し、地球温暖化対策において重要な取組である「環境教育・普及啓発」を効果的に推進する。

【目標】

秋田県における温室効果ガス排出量を、森林吸収量を除いた省エネ等による手法で2027年度に2013年度比で981千トン-CO2削減する。

※第2次秋田県地球温暖化対策推進計画においては、温室効果ガス排出量を森林吸収量を含めた省エネ等による手法で2030年度に2013年度比で26% (2,638千トン-CO2) 削減することを目標としている。

2. 概要

地球温暖化の現状及び地球温暖化対策の重要性について県民の理解を深めるためには、県民向けに啓発活動を行うことができる人材を育成することが重要である。

そのため、県内各地で省エネルギー対策や廃棄物の発生抑制等の環境保全活動を実践している秋田県地球温暖化防止活動推進員やあきたエコマイスター等のスキルアップを図り、県民の地球温暖化対策に関する意識の醸成を推進する。

また、秋田県地球温暖化防止活動推進員やあきたエコマイスター等のスキルアップを図ると共に、県民の地球温暖化対策に関する意識の醸成することを目的として、県民向けのセミナーや、市町村と連携した家庭の省エネ講座を開催する。

3. 根拠法令等

- ・地球温暖化対策の推進に関する法律
- ・秋田県地球温暖化対策推進条例
- ・第2次秋田県地球温暖化対策推進計画
- ・秋田県環境基本条例
- ・第2次秋田県環境基本計画

4. 実施内容等

- ・新規推進員等を対象とした基礎研修会の実施 (3回)
- ・地球温暖化防止コミュニケーター育成研修の実施 (3回)
- ・推進員の活動を補完するための視察研修の開催 (2回)
- ・地球温暖化対策 (適応策) に関する県民向けセミナーの開催 (2回)
- ・市町村との連携による家庭の省エネ講座の開催 (2回)

平成31年度 事業報告書

事業名	ストップ・ザ・温暖化あきた推進事業	新規・継続区分	継続
事項名	地域センター強化支援事業(温暖化対策人材育成)	開始年度	平成29年度
担当部署	温暖化対策課	終了年度	令和9年度

5. 事業費等

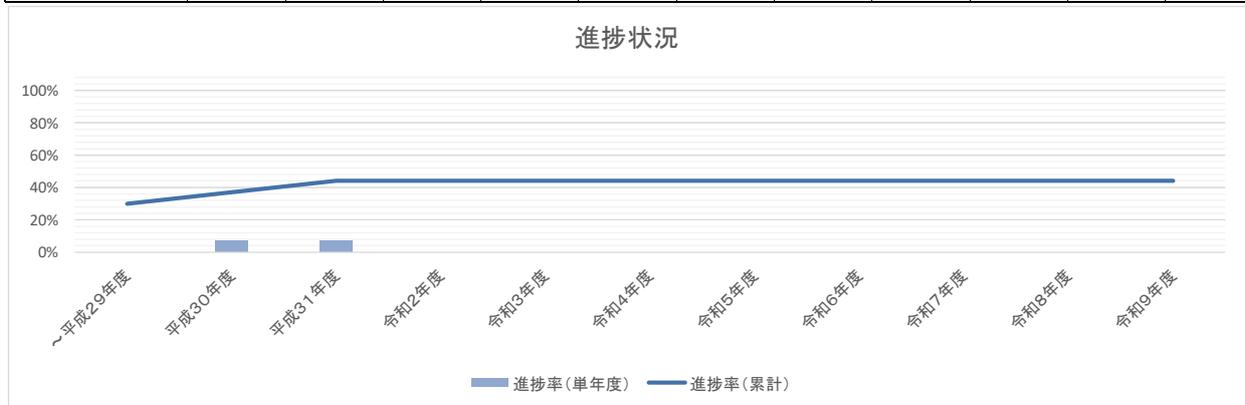
	合計	一般財源等	基金充当額	備考
職員旅費	0			
講師旅費	0			
印刷製本費	0			
借料	0			
委託費	4,681,000		4,681,000	地域センター強化支援事業委託の一部
負担金	0			
合計	4,681,000	0	4,681,000	(単位:円)

年度(単位:千円)	~平成29年度	平成30年度	平成31年度	令和2年度	令和3年度	令和4年度	令和5年度	令和6年度	令和7年度	令和8年度	令和9年度
事業費(単年度)		0	4,681								
事業費(累計)	0	0	4,681	4,681	4,681	4,681	4,681	4,681	4,681	4,681	4,681

6. 進捗状況等

※平成31年度の秋田県の温室効果ガス排出量が算出されるのは令和4年度の予定。

年度	~平成29年度	平成30年度	平成31年度	令和2年度	令和3年度	令和4年度	令和5年度	令和6年度	令和7年度	令和8年度	令和9年度
進捗率(単年度)		7%	7%								
進捗率(累計)	30%	37%	44%	44%	44%	44%	44%	44%	44%	44%	44%



平成31年度 事業報告書

事業名	ストップ・ザ・温暖化あきた推進事業	新規・継続区分	継続
事項名	地域センター強化支援事業(環境あきた県民塾)	開始年度	平成29年度
担当部署	温暖化対策課	終了年度	令和9年度

1. 目的及び目標(値)

【目的】
秋田県地球温暖化防止活動推進センターの活動を支援し、地球温暖化対策において重要な取組である「環境教育・普及啓発」を効果的に推進する。

【目標】
秋田県における温室効果ガス排出量を、森林吸収量を除いた省エネ等による手法で2027年度に2013年度比で981千トン-CO2削減する。
※第2次秋田県地球温暖化対策推進計画においては、温室効果ガス排出量を森林吸収量を含めた省エネ等による手法で2030年度に2013年度比で26% (2,638千トン-CO2) 削減することを目標としている。

2. 概要

地球温暖化やごみ問題など、環境をテーマにした講座を開催する。希望した修了者を「あきたエコマイスター」として登録し、あきたエコマイスターの活動情報等を県民に提供することにより、県民の環境保全活動の意欲を増進し、全ての県民が環境保全活動に参加する社会の実現を目指す。

3. 根拠法令等

- ・地球温暖化対策の推進に関する法律
- ・秋田県地球温暖化対策推進条例
- ・第2次秋田県地球温暖化対策推進計画
- ・秋田県環境基本条例
- ・第2次秋田県環境基本計画

4. 実施内容等

NPO法人環境あきた県民フォーラムに一括委託し、地球温暖化やごみ問題など、環境をテーマにした講座を開催する。講座は、座学・体験学習を設け、それぞれの講座のテーマに精通した講師を招く。全9単位、うち座学6単位・体験3単位。体験1単位を含む6単位を取得した者を修了生とする。希望した修了者を「あきたエコマイスター」として登録する。
受講生51名、うち修了生26名、エコマイスター登録者数26名

平成31年度 事業報告書

事業名	ストップ・ザ・温暖化あきた推進事業	新規・継続区分	継続
事項名	地域センター強化支援事業(環境あきた県民塾)	開始年度	平成29年度
担当部署	温暖化対策課	終了年度	令和9年度

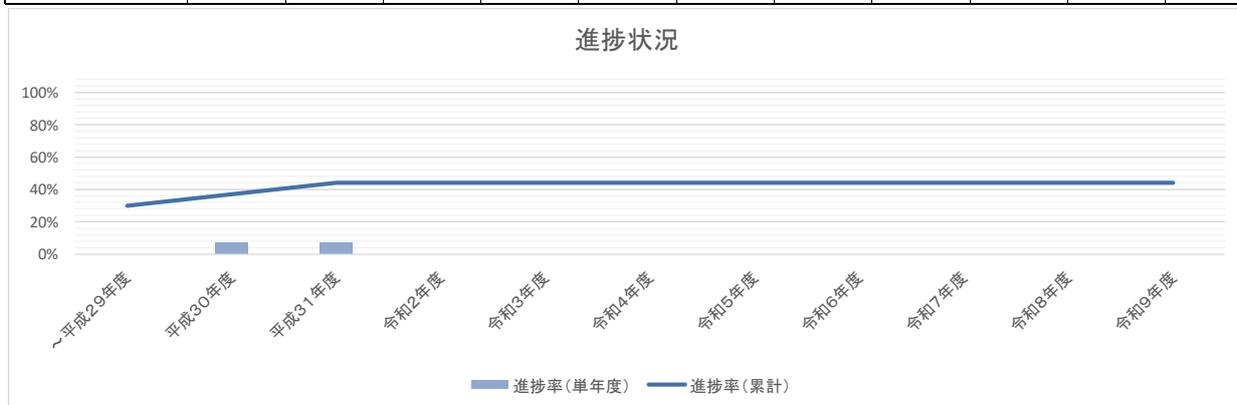
5. 事業費等

	合計	一般財源等	基金充当額	備考
職員旅費	0			
講師旅費	0			
印刷製本費	0			
借料	0			
委託費	1,059,000	0	1,059,000	地域センター強化支援事業委託の一部
負担金	0			
合計	1,059,000	0	1,059,000	(単位：円)

年度(単位:千円)	~平成29年度	平成30年度	平成31年度	令和2年度	令和3年度	令和4年度	令和5年度	令和6年度	令和7年度	令和8年度	令和9年度
事業費(単年度)		1,059	1,059								
事業費(累計)	0	1,059	2,118	2,118	2,118	2,118	2,118	2,118	2,118	2,118	2,118

6. 進捗状況等 ※目標値である秋田県の温室効果ガス排出量については、集計等の関係上、当該年度の結果が3年後に判明する。そのため、当該計画における進捗率としては、当該年度に判明した3年前の実績値を記入する。
(平成29年度→平成26年度の実績値)

年度	~平成29年度	平成30年度	平成31年度	令和2年度	令和3年度	令和4年度	令和5年度	令和6年度	令和7年度	令和8年度	令和9年度
進捗率(単年度)		7%	7%								
進捗率(累計)	30%	37%	44%	44%	44%	44%	44%	44%	44%	44%	44%



平成31年度 事業報告書

事業名	ストップ・ザ・温暖化あきた推進事業	新規・継続区分	継続
事項名	地域センター強化支援事業(あきたエコマイスターNEWSの発信)	開始年度	平成29年度
担当部署	温暖化対策課	終了年度	令和9年度

1. 目的及び目標(値)

【目的】
秋田県地球温暖化防止活動推進センターの活動を支援し、地球温暖化対策において重要な取組である「環境教育・普及啓発」を効果的に推進する。

【目標】
秋田県における温室効果ガス排出量を、森林吸収量を除いた省エネ等による手法で2027年度に2013年度比で981千トン-CO2削減する。
※第2次秋田県地球温暖化対策推進計画においては、温室効果ガス排出量を森林吸収量を含めた省エネ等による手法で2030年度に2013年度比で26% (2,638千トン-CO2) 削減することを目標としている。

2. 概要

地域の環境保全活動のリーダーとして県から登録を受けている「あきたエコマイスター」の活動等について周知し、県民の環境保全活動意欲を増進する。

3. 根拠法令等

- ・地球温暖化対策の推進に関する法律
- ・秋田県地球温暖化対策推進条例
- ・第2次秋田県地球温暖化対策推進計画
- ・秋田県環境基本条例
- ・第2次秋田県環境基本計画

4. 実施内容等

規格：A3二つ折りリーフレット(紙)、カラー
発行回数：年2回
発行部数：各2,000部(計4,000部)
配布先：市町村、学校関係等

平成31年度 事業報告書

事業名	ストップ・ザ・温暖化あきた推進事業	新規・継続区分	継続
事項名	地域センター強化支援事業(あきたエコマイスターNEWSの発信)	開始年度	平成29年度
担当部署	温暖化対策課	終了年度	令和9年度

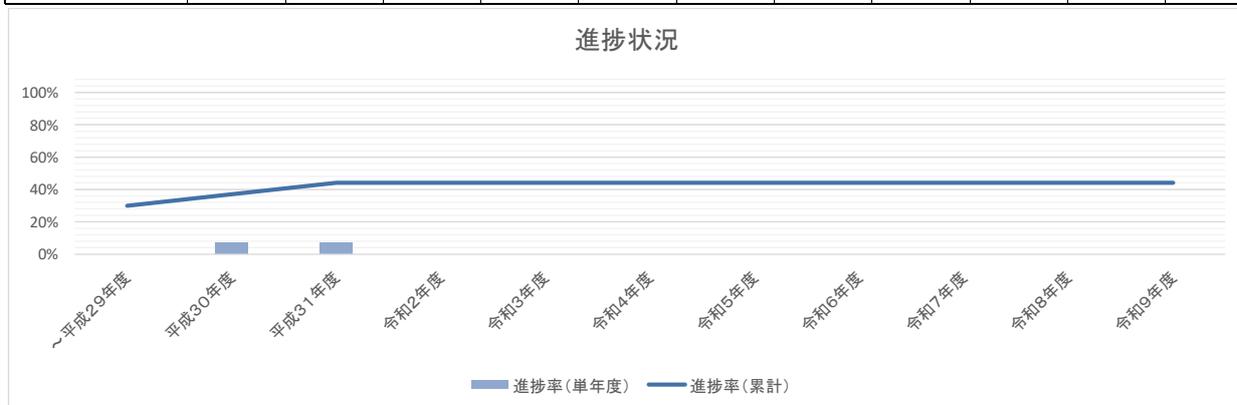
5. 事業費等

	合計	一般財源等	基金充当額	備考
職員旅費	0			
講師旅費	0			
印刷製本費	0			
借料	0			
委託費	521,000	0	521,000	地域センター強化支援事業委託の一部
負担金	0			
合計	521,000	0	521,000	(単位:円)

年度(単位:千円)	~平成29年度	平成30年度	平成31年度	令和2年度	令和3年度	令和4年度	令和5年度	令和6年度	令和7年度	令和8年度	令和9年度
事業費(単年度)		521	521								
事業費(累計)	0	521	1,042	1,042	1,042	1,042	1,042	1,042	1,042	1,042	1,042

6. 進捗状況等

年度	~平成29年度	平成30年度	平成31年度	令和2年度	令和3年度	令和4年度	令和5年度	令和6年度	令和7年度	令和8年度	令和9年度
進捗率(単年度)		7%	7%								
進捗率(累計)	30%	37%	44%	44%	44%	44%	44%	44%	44%	44%	44%



平成31年度 事業報告書

事業名	ストップ・ザ・温暖化あきた推進事業	新規・継続区分	継続
事項名	地域センター強化支援事業(「環境の達人」地域派遣事業)	開始年度	平成29年度
担当部署	温暖化対策課	終了年度	令和9年度

1. 目的及び目標(値)

【目的】
秋田県地球温暖化防止活動推進センターの活動を支援し、地球温暖化対策において重要な取組である「環境教育・普及啓発」を効果的に推進する。

【目標】
秋田県における温室効果ガス排出量を、森林吸収量を除いた省エネ等による手法で2027年度に2013年度比で981千トン-CO2削減する。
※第2次秋田県地球温暖化対策推進計画においては、温室効果ガス排出量を森林吸収量を含めた省エネ等による手法で2030年度に2013年度比で26% (2,638千トン-CO2) 削減することを目標としている。

2. 概要

市町村、学校及び住民団体等が主催する環境保全に関する講演会、学習会等へ講師等を派遣し環境保全に関する知識の普及を図る。

3. 根拠法令等

- ・地球温暖化対策の推進に関する法律
- ・秋田県地球温暖化対策推進条例
- ・第2次秋田県地球温暖化対策推進計画
- ・秋田県環境基本条例
- ・第2次秋田県環境基本計画

4. 実施内容等

市町村、学校及び住民団体等が主催する環境保全に関する講演会、学習会等へ講師等を派遣し環境保全に関する知識の普及を図る。

- ・派遣回数 47回
- ・学校や各種団体からの申請に基づき、環境カウンセラー、大学教授、秋田県地球温暖化防止活動推進員等の講師を選定する。
- ・リーフレットを送付し周知を図った。

平成31年度 事業報告書

事業名	ストップ・ザ・温暖化あきた推進事業	新規・継続区分	継続
事項名	地域センター強化支援事業(「環境の達人」地域派遣事業)	開始年度	平成29年度
担当部署	温暖化対策課	終了年度	令和9年度

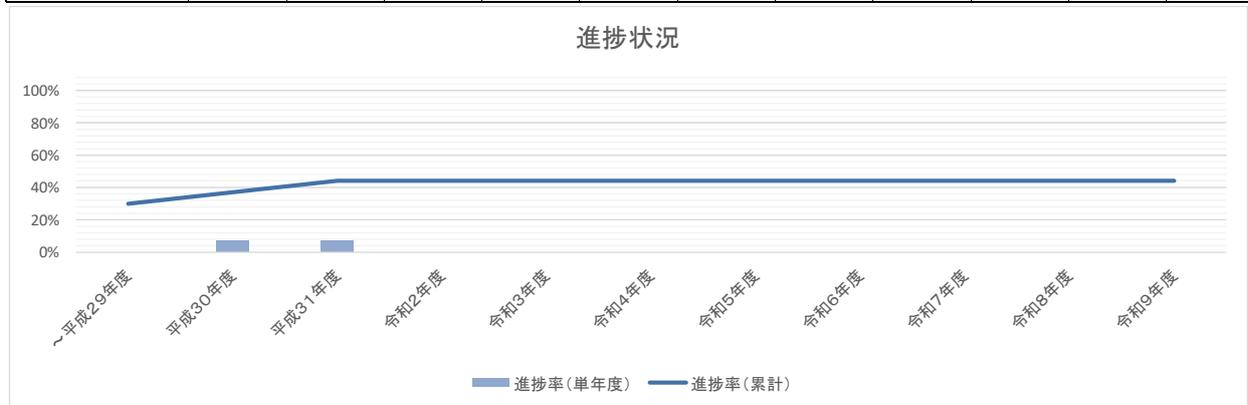
5. 事業費等

	合計	一般財源等	基金充当額	備考
職員旅費	0			
講師旅費	0			
印刷製本費	0			
借料	0			
委託費	979,000	0	979,000	地域センター強化支援事業委託の一部
負担金	0			
合計	979,000	0	979,000	(単位:円)

年度(単位:千円)	~平成29年度	平成30年度	平成31年度	令和2年度	令和3年度	令和4年度	令和5年度	令和6年度	令和7年度	令和8年度	令和9年度
事業費(単年度)		979	979								
事業費(累計)	0	979	1,958	1,958	1,958	1,958	1,958	1,958	1,958	1,958	1,958

6. 進捗状況等 ※目標値である秋田県の温室効果ガス排出量については、集計等の関係上、当該年度の結果が3年後に判明する。そのため、当該計画における進捗率としては、当該年度に判明した3年前の実績値を記入する。(平成29年度→平成26年度の実績値)

年度	~平成29年度	平成30年度	平成31年度	令和2年度	令和3年度	令和4年度	令和5年度	令和6年度	令和7年度	令和8年度	令和9年度
進捗率(単年度)		7%	7%								
進捗率(累計)	30%	37%	44%	44%	44%	44%	44%	44%	44%	44%	44%



平成 3 1 年度 事業報告書

事業名	自然公園美化対策事業	新規・継続区分	継続
事項名	自然公園美化対策（国立公園）	開始年度	平成26年度
担当部署	自然保護課	終了年度	令和9年度

1. 目的及び目標（値）

○目的
優れた風致景観を有する自然公園内における産業廃棄物等の不法投棄の処理及び不法投棄防止の普及啓発活動を行い、自然環境の清潔を保持する。

○目標
回収される廃棄物等の量について2027年度までに目標値の3 t以下を達成する。

2. 概要

○地元清掃団体が行う廃棄物等の処理や不法投棄防止の普及啓発活動に要する経費を補助する。

3. 根拠法令等

○自然公園法第19条
○秋田県生活環境部自然保護課関係補助金交付要綱

4. 実施内容等

○国立公園の美化清掃活動を推進し、自然環境の清潔を保持するために清掃活動事業を行う清掃団体へ補助金を交付した。

○十和田八幡平国立公園において、2団体が1.7トンのゴミを回収した。
内 訳：一般社団法人十和田湖国立公園協会（十和田八幡平国立公園十和田地区）0.4トン
八幡平を美しくする会南八幡平支部（十和田八幡平国立公園秋田駒ヶ岳地区）1.3トン
時 期：平成31年4月～令和2年3月

平成31年度 事業報告書

事業名	自然公園美化対策事業	新規・継続区分	継続
事項名	自然公園美化対策（国立公園）	開始年度	平成26年度
担当部署	自然保護課	終了年度	令和9年度

5. 事業費等

	合計	一般財源等	基金充当額	備考
負担金（補助金）	170,000		170,000	一般社団法人十和田湖国立公園協会
	170,000		170,000	八幡平を美しくする会 南八幡平支部
	0			
	0			
	0			
	0			
合計	340,000	0	340,000	（単位：円）

年度（単位：千円）	～平成29年度	平成30年度	平成31年度	令和2年度	令和3年度	令和4年度	令和5年度	令和6年度	令和7年度	令和8年度	令和9年度
事業費（単年度）		250	340	358	358	358	358	358	358	358	358
事業費（累計）	1,623	1,873	2,213	2,571	2,929	3,287	3,645	4,003	4,361	4,719	5,077

6. 進捗状況等

年度	～平成29年度	平成30年度	平成31年度	令和2年度	令和3年度	令和4年度	令和5年度	令和6年度	令和7年度	令和8年度	令和9年度
進捗率（単年度）		5%	10%	10%	5%	10%	10%	10%	10%	10%	10%
進捗率（累計）	10%	15%	25%	35%	40%	50%	60%	70%	80%	90%	100%



平成31年度 事業報告書

事業名	自然公園美化対策事業	新規・継続区分	継続
事項名	自然公園美化対策（国定公園・県立公園）	開始年度	平成26年度
担当部署	自然保護課	終了年度	令和9年度

1. 目的及び目標（値）

○目的
優れた風致景観を有する自然公園内における産業廃棄物等の不法投棄の処理及び不法投棄防止の普及啓発活動を行い、自然環境の清潔を保持する。

○目標
回収される廃棄物等の量について2027年度までに目標値の60 t以下を達成する。

2. 概要

○地元清掃団体が行う廃棄物等の処理や不法投棄防止の普及啓発活動に要する経費を補助する。

3. 根拠法令等

○自然公園法第19条
○秋田県生活環境部自然保護課関係補助金交付要綱

4. 実施内容等

○国定公園・県立自然公園の美化清掃活動を推進し、自然環境の清潔を保持するために清掃活動事業を行う清掃団体へ、市町村を經由して補助金を交付した。

○県内の国定公園3カ所、県立自然公園4カ所において、7団体が88.9トンのゴミを回収した。

内 訳：にかほ市 鳥海国定公園を美しくする会（鳥海国定公園）10トン
 湯沢市 湯沢市栗駒国定公園を美しくする会（栗駒国定公園）2トン
 男鹿市 男鹿を美しくする会（男鹿国定公園）66トン
 大仙市 真木真昼県立自然公園を美しくする会（真木真昼県立自然公園）3トン
 北秋田市 県立自然公園森吉山を美しくする会（森吉山県立自然公）0.3トン
 大館市 田代岳を愛する会（田代岳県立自然公園）1.1トン
 仙北市 田沢湖を美しくする会（田沢湖抱返り県立自然公園）6.5トン

時 期：平成31年4月～令和2年3月

平成 3 1 年度 事業報告書

事業名	自然公園美化対策事業	新規・継続区分	継続
事項名	自然公園美化対策（国定公園・県立公園）	開始年度	平成26年度
担当部署	自然保護課	終了年度	令和9年度

5. 事業費等

	合計	一般財源等	基金充当額	備考
負担金（補助金）	76,000	0	76,000	にかほ市（鳥海国定公園を美しくする会）
	104,000	0	104,000	湯沢市（湯沢市栗駒国定公園を美しくする会）
	332,000	0	332,000	男鹿市（男鹿を美しくする会）
	76,000	0	76,000	大仙市（真木真昼県立自然公園を美しくする会）
	125,000	0	125,000	北秋田市（県立自然公園森吉山を美しくする会）
	76,000	0	76,000	大館市（田代岳を愛する会）
	152,000	0	152,000	仙北市（田沢湖を美しくする会）
合計	941,000	0	941,000	（単位：円）

年度（単位：千円）	～平成29年度	平成30年度	平成31年度	令和2年度	令和3年度	令和4年度	令和5年度	令和6年度	令和7年度	令和8年度	令和9年度
事業費（単年度）		880	941	976	976	976	976	976	976	976	976
事業費（累計）	3,501	4,381	5,322	6,298	7,274	8,250	9,226	10,202	11,178	12,154	13,130

6. 進捗状況等

年度	～平成29年度	平成30年度	平成31年度	令和2年度	令和3年度	令和4年度	令和5年度	令和6年度	令和7年度	令和8年度	令和9年度
進捗率（単年度）		5%	10%	10%	5%	10%	10%	10%	10%	10%	10%
進捗率（累計）	10%	15%	25%	35%	40%	50%	60%	70%	80%	90%	100%



平成 3 1 年度 事業報告書

事業名	白神山地利活用推進事業	新規・継続区分	継続
事項名	白神山地環境教育推進事業	開始年度	平成 2 6 年度
担当部署	自然保護課	終了年度	令和 9 年度

1. 目的及び目標 (値)

【目的】
白神山地の価値や素晴らしさを、次世代を担う子どもたちに伝えることで、自然に親しみ自然を大切に感じる心を養うための環境教育を実施する。また、その結果として白神山地世界遺産を将来にわたって保全していくための人材を育成することをめざす。

【目標】
白神山地をフィールドにした自然体験教室を令和 9 年度まで継続させ、定員 8 0 0 名に対し参加者計 6 4 0 名以上を獲得する。

2. 概要

世界遺産白神山地の価値や保全の大切さを子どもたちへ伝えるため、白神山地をフィールドにした自然体験教室を夏季、冬季の 2 シーズンで開催する。
開催時期は夏季（日帰り、3 回）と、冬季（2 泊 3 日、1 回）とする。夏季は沢歩きを、冬季は雪遊びや伝承文化をメインプログラムとし、白神山地の環境が育む水と生態系や人との関わりなど、学習指導要領との関連も前面に打ち出した野外体験学習の性質を持たせたものとする。
実施方式は、プログラムの内容を深め、より良いものとするために、企画提案競技による委託事業とする。
参加者の募集については、県央・県南の市町村教育委員会に協力を依頼し、各小学校へ参加者募集チラシ等を配布する。

3. 根拠法令等

- ・白神山地世界遺産地域管理計画

4. 実施内容等

- ・子ども向け自然体験教室「白神体験塾」の開催
夏季プログラム：日帰り（秋田市発 2 回、横手市発 1 回、全 3 回開催）
冬季プログラム：2 泊 3 日（秋田市発）（1 回）
対 象：秋田県内の小学 4 年～ 6 年生（各回定員 2 0 名） 8 5 名参加
委託先：企画提案競技により選定

平成31年度 事業報告書

事業名	白神山地利活用推進事業	新規・継続区分	継続
事項名	白神山地環境教育推進事業	開始年度	平成26年度
担当部署	自然保護課	終了年度	令和9年度

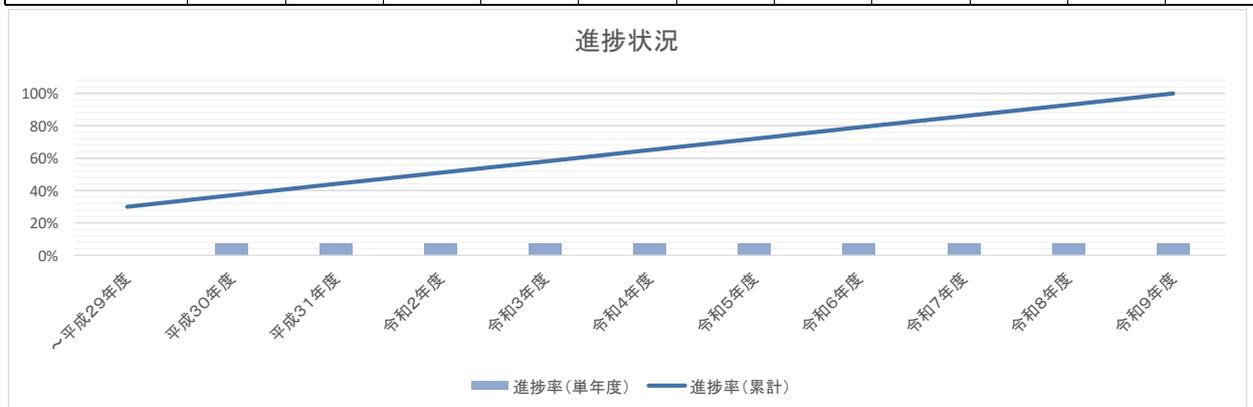
5. 事業費等

	合計	一般財源等	基金充当額	備考
職員旅費	40,509	40,509	0	冬季プログラム宿泊費
講師旅費	0			
印刷製本費	0			
役務費	5,176	5,176	0	電話代
借料	9,744	9,744	0	高速道路通行料
委託費	2,326,900		2,326,900	企画運營業務委託
負担金	0			
合計	2,382,329	55,429	2,326,900	(単位：円)

年度 (単位:千円)	~平成29年度	平成30年度	平成31年度	令和2年度	令和3年度	令和4年度	令和5年度	令和6年度	令和7年度	令和8年度	令和9年度
事業費 (単年度)		2,167	2,383	3,141	3,200	3,200	3,200	3,200	3,200	3,200	3,200
事業費 (累計)	7,009	9,176	11,559	14,700	17,900	21,100	24,300	27,500	30,700	33,900	37,100

6. 進捗状況等

年度	~平成29年度	平成30年度	平成31年度	令和2年度	令和3年度	令和4年度	令和5年度	令和6年度	令和7年度	令和8年度	令和9年度
進捗率 (単年度)		7%	7%	7%	7%	7%	7%	7%	7%	7%	7%
進捗率 (累計)	30%	37%	44%	51%	58%	65%	72%	79%	86%	93%	100%



平成31年度 事業報告書

事業名	白神山地利活用推進事業	新規・継続区分	継続
事項名	秋田白神祭開催事業	開始年度	平成27年度
担当部署	自然保護課	終了年度	令和9年度

1. 目的及び目標（値）

【目的】

白神山地世界遺産登録25周年によって高まった認知度や保全の気運を、次の節目である30周年、35周年、またその先へ繋げ、白神山地を将来にわたって価値ある状態で継承していくため、世界遺産白神山地の価値や保全の重要性をより一層発信するとともに、保全を担う次世代の育成や自然環境保全の取組への関心を高め、理解を深める環境イベントを開催する。

【目標】

環境啓発イベント（あきた白神まつり）を開催し、県民の総来場者を7,100名以上とする。

2. 概要

シンポジウム（基調講演・パネルディスカッション）、現地トレッキングツアー、飲食・体験ブース、ステージイベント等により構成する環境イベントを開催し、県民の自然環境に対する普及啓発を図る。

3. 根拠法令等

・白神山地世界遺産地域管理計画

4. 実施内容等

開催時期：令和元年6月8日、9日

開催場所：秋田市エリアなかいち

開催内容：1 基調講演①

環境教育における有識者（学識者）を招き、子どもが自然に関わることの重要性や世界遺産白神山地が地元にある地域特性を踏まえた環境教育の推進などをテーマに講演していただいた。

2 基調講演②

著名な登山家を招き、登山経験から自然に触れ合うことの意義、白神山地を始めとした秋田県の自然環境の可能性について講演していただいた。

3 パネルディスカッション

講演者のほか、白神山地の地元ガイド、秋田県出身タレントをパネラーに、あきた白神の可能性、将来への継承のために考えるべきこと等をテーマとして、意見交換していただいた。

4 現地トレッキングツアー

白神山地の価値・魅力を体感することができるフィールドでトレッキングツアーを実施した。

5 その他飲食・体験ブース、ステージイベント等

来場者数：5,000名（延べ）

平成31年度 事業報告書

事業名	白神山地利活用推進事業	新規・継続区分	継続
事項名	秋田白神祭開催事業	開始年度	平成27年度
担当部署	自然保護課	終了年度	令和9年度

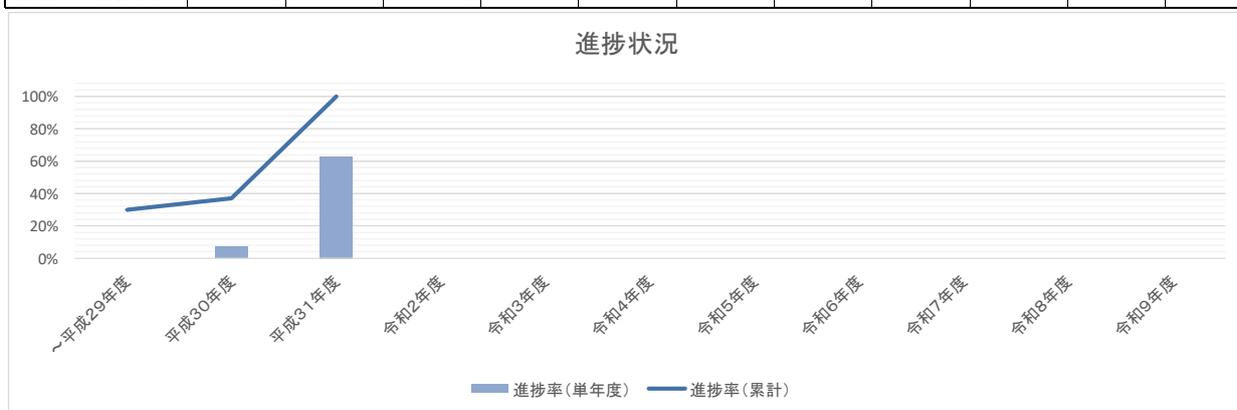
5. 事業費等

	合計	一般財源等	基金充当額	備考
職員旅費	0			
講師旅費	0			
印刷製本費	0			
需用費	54,776	54,776	0	コピー代、図書購入など
借料	7,132	7,132	0	高速道路通行料
委託費	4,258,440		4,258,440	企画運營業務委託
負担金	0			
合計	4,320,348	61,908	4,258,440	(単位：円)

年度 (単位:千円)	~平成29年度	平成30年度	平成31年度	令和2年度	令和3年度	令和4年度	令和5年度	令和6年度	令和7年度	令和8年度	令和9年度
事業費 (単年度)		2,700	4,321								
事業費 (累計)	7,929	10,629	14,950								

6. 進捗状況等

年度	~平成29年度	平成30年度	平成31年度	令和2年度	令和3年度	令和4年度	令和5年度	令和6年度	令和7年度	令和8年度	令和9年度
進捗率 (単年度)		7%	63%								
進捗率 (累計)	30%	37%	100%								



平成31年度 事業報告書

事業名	白神山地利活用推進事業	新規・継続区分	継続
事項名	白神山地総合ガイド育成事業	開始年度	平成26年度
担当部署	自然保護課	終了年度	令和9年度

1. 目的及び目標（値）

<p>【目的】 世界遺産白神山地の価値や魅力をわかりやすく伝えることや、保全の取組を実施するに当たってし、ガイドの役割は非常に大きく、欠くことができない。しかし、高齢化が進み人数が減少しており、特に核心地域について熟知し、案内できるガイドは数人までに減少している。そのため白神山地に関する知識やガイド技術等を習得してもらうための講習（座学・実技）、修了試験を行い、白神山地の保全推進の担い手を養成する。</p> <p>【目標】 あきた白神認定ガイドを50人養成し、県民に対して白神山地の自然環境保全の普及啓発を図る。</p>
--

2. 概要

<p>白神山地に関する知識やガイド技術等を学ぶ講習（机上・実技）を計10回、講習内容の習得度を確認する修了試験を1回行い、あきた白神認定ガイドを養成する。 認定講習は令和2年度まで実施し、その後は更新講習を実施する。</p>
--

3. 根拠法令等

<ul style="list-style-type: none"> ・白神山地世界遺産地域管理計画 ・あきた白神認定ガイド制度実施要綱
--

4. 実施内容等

<p>あきた白神認定ガイド講習・試験を実施した。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・講習：白神山地における歴史文化、法規制等を学ぶ机上講習、白神ガイドとして求められる事柄を経験することができる実技講習を計10回のプログラムで行った。（5月～翌1月）。 ・試験：講習内容の習得度を確認するための修了試験、コミュニケーション力などガイド適性を確認するための面接試験（翌2月）。7名合格 ・対象：白神ガイドとして活動する意欲のある者（居住地・職業・性別・年齢等不問）
--

平成31年度 事業報告書

事業名	白神山地利活用推進事業	新規・継続区分	継続
事項名	白神山地総合ガイド育成事業	開始年度	平成26年度
担当部署	自然保護課	終了年度	令和9年度

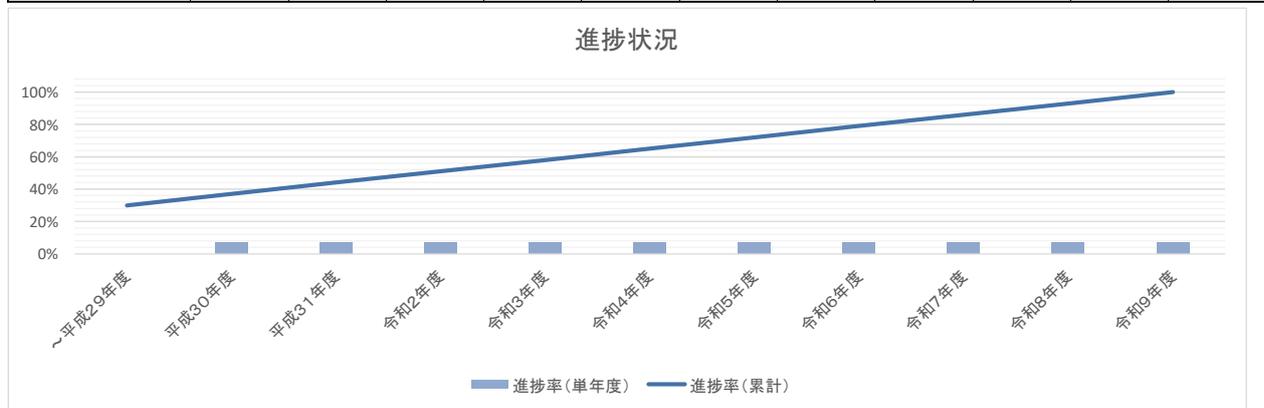
5. 事業費等

	合計	一般財源等	基金充当額	備考
報償費	112,000	112,000	0	運営委員会委員報酬
職員旅費	4,440	4,440	0	試験
講師旅費	20,646	20,646	0	運営委員会、試験
印刷製本費	0			
需用費	269,191	269,191	0	コピー代、認定証など
借料	40,530	40,530	0	高速道路通行料
委託費	3,014,000		3,014,000	企画運営業務委託
負担金	0			
合計	3,460,807	446,807	3,014,000	(単位：円)

年度 (単位:千円)	~平成29年度	平成30年度	平成31年度	令和2年度	令和3年度	令和4年度	令和5年度	令和6年度	令和7年度	令和8年度	令和9年度
事業費 (単年度)		4,087	3,461	3,574	3,500	3,500	3,500	3,500	3,500	3,500	3,500
事業費 (累計)	8,909	12,996	16,457	20,031	23,531	27,031	30,531	34,031	37,531	41,031	44,531

6. 進捗状況等

年度	~平成29年度	平成30年度	平成31年度	令和2年度	令和3年度	令和4年度	令和5年度	令和6年度	令和7年度	令和8年度	令和9年度
進捗率 (単年度)		7%	7%	7%	7%	7%	7%	7%	7%	7%	7%
進捗率 (累計)	30%	37%	44%	51%	58%	65%	72%	79%	86%	93%	100%



平成31年度 事業報告書

事業名	白神山地利活用推進事業	新規・継続区分	継続
事項名	白神山地保全推進啓発動画作成事業	開始年度	平成31年度
担当部署	自然保護課	終了年度	令和9年度

1. 目的及び目標（値）

【目的】
世界遺産としての白神山地の価値、保全の重要性、四季の魅力等を紹介する動画を作成し、県ウェブサイト、白神山地に関する各種イベント等の場を活用して幅広く発信するとともに、環境教育、白神ガイドなど白神山地の保全推進に携わる方々の意識・知識の向上の教材としても活用し、多くの人に白神山地への環境保全、適切な利活用の意識を啓発する。

【目標】
動画による白神山地保全推進の普及啓発を行うことで、白神山地周辺地域への来訪者数を25万人以上にし、環境保全の大切さについて周知を図る。

2. 概要

（秋田県側）白神山地の主なビューポイント等において、風致、生態学的特徴、歴史文化、保全することの意義等、環境保全する上で未来へ伝えていきたい事などを地元白神ガイドが解説（ガイディング）しているように紹介する動画（1箇所あたり3分程度）を作成する。

作成した動画は、県ウェブサイトで公開するとともに、白神山地保全推進拠点施設（世界遺産センター藤里館）や白神山地に関する各種イベント（県のほか市町開催も含む。）での上映のほか、白神山地保全推進拠点施設（世界遺産センター藤里館）等での環境教育教材やガイド技術の教材として、幅広く活用する。

3. 根拠法令等

- ・白神山地世界遺産地域管理計画

4. 実施内容等

白神山地の保全推進啓発動画作成のための撮影、編集を行った。
・令和元年7月下旬（夏）以降から撮影開始（7月下旬までは撮影のための打合せ・準備等行った。）
・撮影後随時編集行い、編集後ウェブサイト等へ公開した。
・撮影編集、完成後の動画公開・活用にあたっては、地元市町、ガイド団体、観光団体、白神山地への有識者等へ協力を依頼した。

平成31年度 事業報告書

事業名	白神山地利活用推進事業	新規・継続区分	継続
事項名	白神山地保全推進啓発動画作成事業	開始年度	平成31年度
担当部署	自然保護課	終了年度	令和9年度

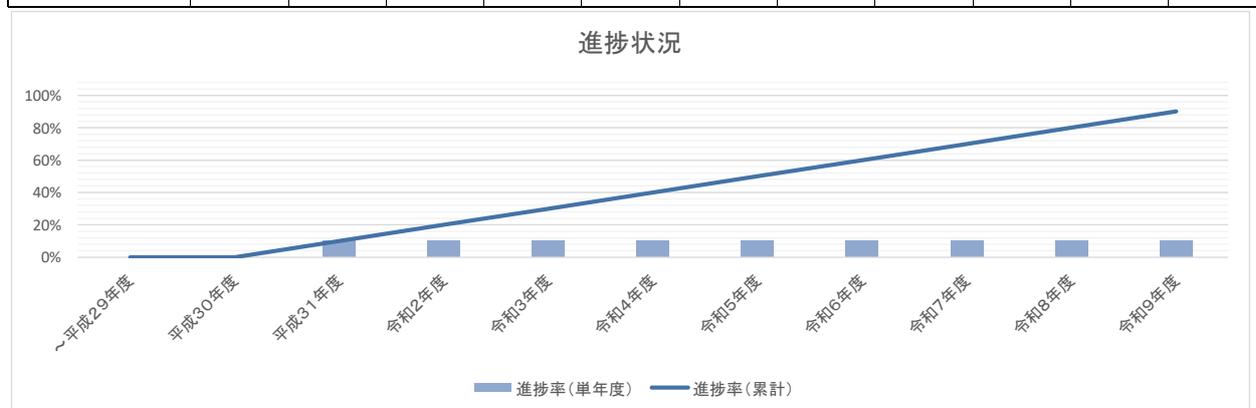
5. 事業費等

	合計	一般財源等	基金充当額	備考
職員旅費	0			
講師旅費	0			
印刷製本費	0			
借料	0			
委託費	3,432,000		3,432,000	企画運營業務委託
負担金	0			
合計	3,432,000	0	3,432,000	(単位：円)

年度(単位:千円)	~平成29年度	平成30年度	平成31年度	令和2年度	令和3年度	令和4年度	令和5年度	令和6年度	令和7年度	令和8年度	令和9年度
事業費(単年度)		0	3,432	0	0	0	0	0	0	0	0
事業費(累計)		0	3,432	3,432	3,432	3,432	3,432	3,432	3,432	3,432	3,432

6. 進捗状況等

年度	~平成29年度	平成30年度	平成31年度	令和2年度	令和3年度	令和4年度	令和5年度	令和6年度	令和7年度	令和8年度	令和9年度
進捗率(単年度)		0%	10%	10%	10%	10%	10%	10%	10%	10%	10%
進捗率(累計)	0%	0%	10%	20%	30%	40%	50%	60%	70%	80%	90%



平成31年度 事業報告書

事業名	生物多様性保全強化事業	新規・継続区分	継続
事項名	(1) 希少種環境保全普及啓発事業	開始年度	平成29年度
担当部署	自然保護課	終了年度	令和9年度

1. 目的及び目標（値）

○目的

人間の暮らしは、多様な種が関わりながら形成する自然の恵みに支えられており、複雑なバランスで成り立っている自然を守るためには、一つ一つの種を絶滅から守っていくことが必要である。絶滅の危機にひんしているゼニタナゴは、その生息環境が悪化しているため、その生息環境の改善に取り組んでいかなければならない。

○目標

ゼニタナゴの生息地において、生息環境悪化の原因とされる水質や外来種の問題について、改善に取り組み、2027年度までに安定した生息数を維持できるよう取り組む。（目標値：1,000尾）

2. 概要

ゼニタナゴはかつて、青森県を除き新潟県を含む東北一円や関東地方等に広く分布していたが、1970年以降の生活環境の変化等により急速に減少し、2004年には、本県を含めて4県しか生息確認できていない状況であり、国や県のレッドデータブックでは絶滅危惧種ⅠA類に指定されている。

県内のゼニタナゴは、野生では横手市のみ生息が確認できる状況であり、早急な保護対策が必要な状況となっている。

このため、ゼニタナゴの生息地において、生息数減少の原因とされる外来種の駆除や水質改善の取り組みなど、専門家の意見を踏まえた環境改善を推進していく。

3. 根拠法令等

○秋田県自然環境保全条例

○秋田県安本自然環境保全地域に関する保全計画

4. 実施内容等

○ゼニタナゴの生息環境悪化の原因とされる水質の改善を図るため、委託による浮葉植物除去作業を実施した。
1回目（R1.8.21）2回目（R1.9.12）

○希少種保全の普及啓発活動として「希少種観察会及び外来種駆除」を実施した。
地元の親子20名が参加（R1.8.22）

平成31年度 事業報告書

事業名	生物多様性保全強化事業	新規・継続区分	継続
事項名	(1) 希少種環境保全普及啓発事業	開始年度	平成29年度
担当部署	自然保護課	終了年度	令和9年度

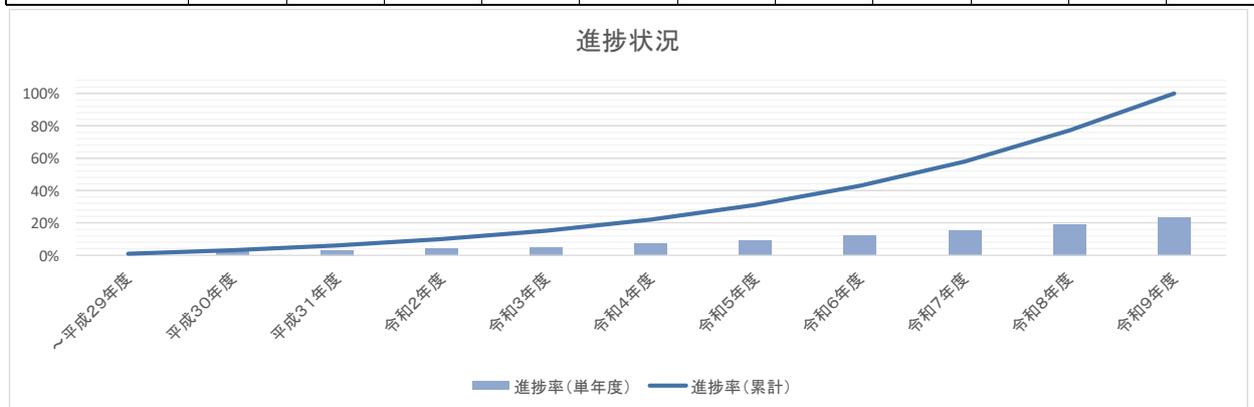
5. 事業費等

	合計	一般財源等	基金充当額	備考
職員旅費	10,000		10,000	講師報償費
職員旅費	0			
講師旅費	0			
印刷製本費	0			
借料	0			
委託費	201,960		201,960	浮葉植物除去作業委託
負担金	0			
合計	211,960	0	211,960	(単位：円)

年度 (単位:千円)	~平成29年度	平成30年度	平成31年度	令和2年度	令和3年度	令和4年度	令和5年度	令和6年度	令和7年度	令和8年度	令和9年度
事業費 (単年度)		220	212	223	224	224	224	224	224	224	224
事業費 (累計)	300	520	732	955	1,179	1,403	1,627	1,851	2,075	2,299	2,523

6. 進捗状況等

年度	~平成29年度	平成30年度	平成31年度	令和2年度	令和3年度	令和4年度	令和5年度	令和6年度	令和7年度	令和8年度	令和9年度
進捗率 (単年度)		2%	3%	4%	5%	7%	9%	12%	15%	19%	23%
進捗率 (累計)	1%	3%	6%	10%	15%	22%	31%	43%	58%	77%	100%



平成31年度 事業報告書

事業名	野生鳥獣の保護管理と被害防止対策等の普及啓発事業	新規・継続区分	継続
事項名	野生鳥獣の保護管理と被害防止対策等の普及啓発事業（狩猟の魅力まるわかりフォーラム）	開始年度	令和元年度
担当部署	自然保護課鳥獣保護管理班	終了年度	令和9年度

1. 目的及び目標（値）

<p>【目的】 秋田県では、クマによる人身被害、生活地域に出没することによる生活活動の抑制などの心理的影響及びこれに伴う経済的影響並びに農林水産業被害が大きな社会問題となっており、クマの人間活動域周辺への分布拡大による軋轢を軽減する必要がある。 また、クマ以外の野生鳥獣においても、分布確認域の拡大や農林水産業被害の増加など、野生鳥獣による影響が拡大傾向にある。 クマを始め野生鳥獣の適正な保護・管理を推進していくためには、関係機関や関係団体、地域住民等の理解や協力が必要であり、野生鳥獣対策への関心を高めるとともに理解を深め、被害軽減のための一人ひとりの取組を促進する必要がある。</p> <p>【目標】 目標値：フォーラム参加者数：150人</p>
--

2. 概要

<p>野生鳥獣対策の必要性や重要性を広く啓発するため、県民を対象としたフォーラムを開催する。</p>
--

3. 根拠法令等

<p>秋田県第二種特定鳥獣管理計画（第4次ツキノワグマ） 鳥獣の保護及び管理並びに狩猟の適正化に関する法律 鳥獣による農林水産業等に係る被害の防止のための特別措置に関する法律</p>

4. 実施内容等

<p>○ 開催日：令和元年7月21日（日）13:00～16:00 ○ 開催場所：国立大学法人秋田大学キャンパス内 ○ 実施内容：基調講演、ワークショップ、模擬銃体験、狩猟免許取得支援、パネル展示 ○ 参加者：約50名（事前申込19名・当日参加者約30名）</p>
--

平成31年度 事業報告書

事業名	野生鳥獣の保護管理と被害防止対策等の普及啓発事業	新規・継続区分	継続
事項名	野生鳥獣の保護管理と被害防止対策等の普及啓発事業（狩猟の魅力まるわかりフォーラム）	開始年度	令和元年度
担当部署	自然保護課鳥獣保護管理班	終了年度	令和9年度

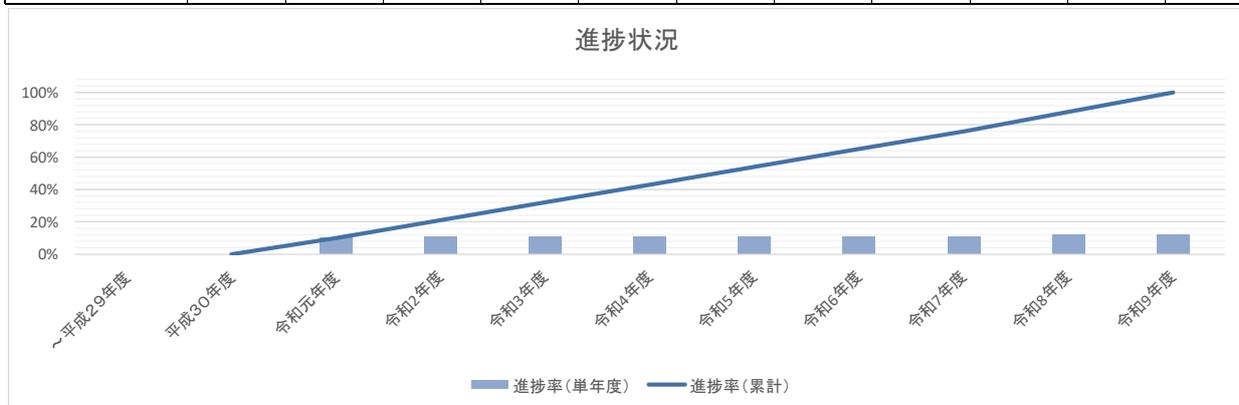
5. 事業費等

	合計	一般財源等	基金充当額	備考
職員旅費	0			
講師旅費	0			
印刷製本費	0			
借料	0			
委託費	402,000	0	402,000	
負担金	0			
合計	402,000	0	402,000	(単位：円)

年度 (単位:千円)	~平成29年度	平成30年度	令和元年度	令和2年度	令和3年度	令和4年度	令和5年度	令和6年度	令和7年度	令和8年度	令和9年度
事業費 (単年度)			402	432	432	432	432	432	432	432	432
事業費 (累計)		0	402	834	1,266	1,698	2,130	2,562	2,994	3,426	3,858

6. 進捗状況等

年度	~平成29年度	平成30年度	令和元年度	令和2年度	令和3年度	令和4年度	令和5年度	令和6年度	令和7年度	令和8年度	令和9年度
進捗率 (単年度)			10%	11%	11%	11%	11%	11%	11%	12%	12%
進捗率 (累計)		0%	10%	21%	32%	43%	54%	65%	76%	88%	100%



平成31年度 事業報告書

事業名	野生鳥獣の保護管理と被害防止対策等の普及啓発事業	新規・継続区分	継続
事項名	野生鳥獣の保護管理と被害防止対策等の普及啓発事業（ツキノワグマ被害防止活動支援事業）	開始年度	令和元年度
担当部署	自然保護課鳥獣保護管理班	終了年度	令和9年度

1. 目的及び目標（値）

秋田県では、クマの人的被害、農林水産業被害及び生活環境被害が問題となっており、クマと共生を図るためには、県民を対象に出前講座等でクマの生態と対策について普及啓発をはかる必要がある。また、狩猟者減少や高齢化が進行しており、野生鳥獣の保護管理を支えている人員が不足するおそれがあることから、狩猟の魅力を伝えるフォーラムの開催などにより、鳥獣保護の担い手となる狩猟者を新たに呼び込むための普及啓発を行う。

目標値：出前講座等は毎年15回以上または500人以上に対して実施する。

2. 概要

秋田県では、クマの人的被害、農林水産業被害及び生活環境被害が問題となっており、クマと共生を図るために県民を対象に出前講座等でクマの生態と対策について実施し、読本等の教材で広く啓発を図る。

3. 根拠法令等

秋田県第二種特定鳥獣管理計画（第4次ツキノワグマ）
鳥獣の保護及び管理並びに狩猟の適正化に関する法律
鳥獣による農林水産業等に係る被害の防止のための特別措置に関する法律

4. 実施内容等

- 読本作成数：小学生用2,000部、一般用2,000部
出前講座の教材として活用したほか、県内の小・中・高校へ配付し、クマ被害防止に関する普及啓発を行った。
- クマキット作成：クマの毛皮の購入（2個体分）
出前講座の教材として活用した。
- 出前講座実施回数：12回
- 受講者数：延べ684人

平成31年度 事業報告書

事業名	野生鳥獣の保護管理と被害防止対策等の普及啓発事業	新規・継続区分	継続
事項名	野生鳥獣の保護管理と被害防止対策等の普及啓発事業（ツキノワグマ被害防止活動支援事業）	開始年度	令和元年度
担当部署	自然保護課鳥獣保護管理班	終了年度	令和9年度

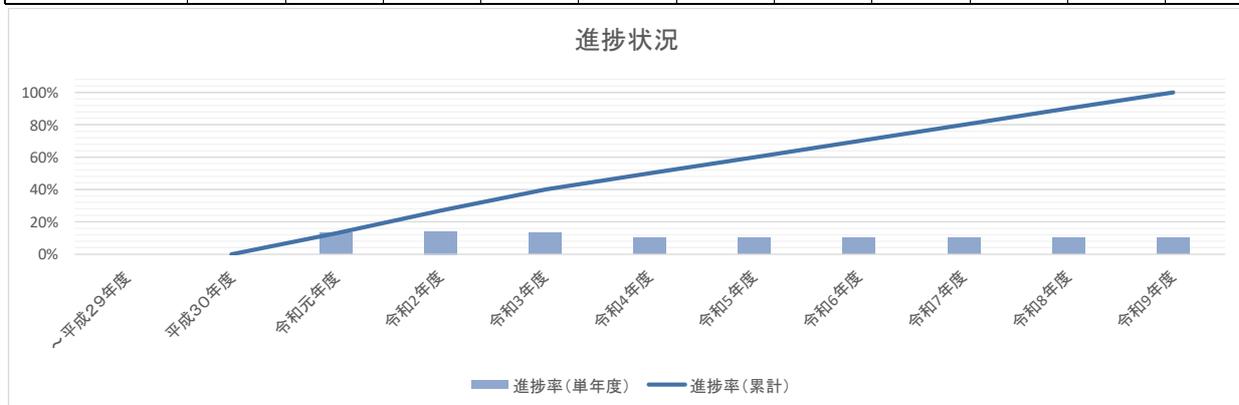
5. 事業費等

	合計	一般財源等	基金充当額	備考
職員旅費	0			
講師旅費	0			
印刷製本費	0			
借料	0			
委託費	581,904		581,904	読本作成業務委託
需用費	58,320		58,320	クマの毛皮購入費
合計	640,224	0	640,224	(単位：円)

年度 (単位:千円)	~平成29年度	平成30年度	令和元年度	令和2年度	令和3年度	令和4年度	令和5年度	令和6年度	令和7年度	令和8年度	令和9年度
事業費 (単年度)			641	2,350	950	950	950	950	950	950	950
事業費 (累計)		0	641	2,991	3,941	4,891	5,841	6,791	7,741	8,691	9,641

6. 進捗状況等

年度	~平成29年度	平成30年度	令和元年度	令和2年度	令和3年度	令和4年度	令和5年度	令和6年度	令和7年度	令和8年度	令和9年度
進捗率 (単年度)			13%	14%	13%	10%	10%	10%	10%	10%	10%
進捗率 (累計)		0%	13%	27%	40%	50%	60%	70%	80%	90%	100%



平成 3 1 年度 事業報告書

事業名	環境産業活性化推進事業	新規・継続区分	継続
事項名	認定リサイクル製品利用拡大推進事業	開始年度	平成31年度
担当部署	環境管理課	終了年度	令和9年度

1. 目的及び目標 (値)

<p>【目的】 県民意識調査において、県へ期待する活動の設問に対し、「ごみなどを原料としたリサイクル製品の普及活動」が上位となっているため、県民の関心が高いことから、優れたリサイクル製品を県が認定し、その利用拡大を図りながら、県民への認知度を高めるため、リサイクル製品に関する普及啓発を行う。</p> <p>【目標】 県認定リサイクル製品の認定数（累積）：4 3 2 製品</p>
--

2. 概要

<p>認定リサイクル製品の新たな利用拡大を図るため、環境学習及び各種環境イベントでのPR活動を推進する。</p>
--

3. 根拠法令等

<p>秋田県リサイクル製品の認定及び利用の推進に関する条例（平成16年3月26日 条例第44号）</p>
--

4. 実施内容等

<p>○環境学習及び各種環境イベントでのPR活動 リサイクル認定製品の展示、PR資料展示を環境団体へ委託して県民への普及啓発を図った。</p> <p>委託者：NPO法人環境あきた県民フォーラム 理事長 佐藤 充 実績：秋田県認定リサイクル製品の展示によるPR事業（開催日・開催場所）</p> <table> <tr> <td>令和元年11月30日（土）</td> <td>由利本荘市総合体育館</td> </tr> <tr> <td>令和元年12月5日（木）～7日（土）</td> <td>東京ビックサイト</td> </tr> <tr> <td>令和2年3月6日（金）～12日（木）</td> <td>秋田市にぎわい交流館</td> </tr> <tr> <td>令和2年3月13日（木）～17日（火）</td> <td>秋田市にぎわい交流館</td> </tr> </table> <p>認定製品PR用チラシの製作及び配布 両面500部</p>	令和元年11月30日（土）	由利本荘市総合体育館	令和元年12月5日（木）～7日（土）	東京ビックサイト	令和2年3月6日（金）～12日（木）	秋田市にぎわい交流館	令和2年3月13日（木）～17日（火）	秋田市にぎわい交流館
令和元年11月30日（土）	由利本荘市総合体育館							
令和元年12月5日（木）～7日（土）	東京ビックサイト							
令和2年3月6日（金）～12日（木）	秋田市にぎわい交流館							
令和2年3月13日（木）～17日（火）	秋田市にぎわい交流館							

平成31年度 事業報告書

事業名	環境産業活性化推進事業	新規・継続区分	継続
事項名	認定リサイクル製品利用拡大推進事業	開始年度	平成31年度
担当部署	環境管理課	終了年度	令和9年度

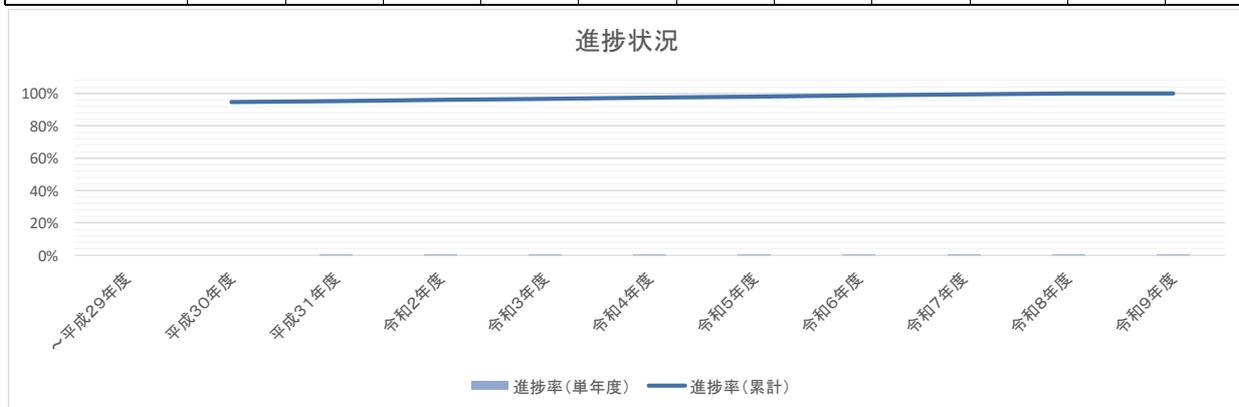
5. 事業費等

	合計	一般財源等	基金充当額	備考
報償費				
職員旅費				
講師旅費				
印刷製本費				
借料				
委託費	543,132	0	543,132	秋田県認定リサイクル製品展示PR業務委託
負担金	0			
合計	543,132	0	543,132	(単位：円)

年度 (単位:千円)	~平成29年度	平成30年度	平成31年度	令和2年度	令和3年度	令和4年度	令和5年度	令和6年度	令和7年度	令和8年度	令和9年度
事業費 (単年度)			544	600	600	600	600	600	600	600	600
事業費 (累計)		0	544	1,144	1,744	2,344	2,944	3,544	4,144	4,744	5,344

6. 進捗状況等

年度	~平成29年度	平成30年度	平成31年度	令和2年度	令和3年度	令和4年度	令和5年度	令和6年度	令和7年度	令和8年度	令和9年度
進捗率 (単年度)			0.7%	0.7%	0.7%	0.7%	0.7%	0.7%	0.7%	0.7%	0.7%
進捗率 (累計)		94.7%	95.4%	96.1%	96.7%	97.4%	98.1%	98.8%	99.5%	100.0%	100.0%



平成31年度 事業報告書

事業名	環境あきたエコ活動促進事業	新規・継続区分	継続
事項名	環境あきたエコ活動促進事業	開始年度	平成31年度
担当部署	環境管理課	終了年度	令和9年度

1. 目的及び目標（値）

<p>【目的】 本県の恵まれた環境をより豊かなものとして将来の世代に継承していくため、県民が組織する民間団体が地域住民等に対し、自主的に行う環境保全活動を支援することにより、県民が環境保全の意義や重要性を理解するとともに、環境保全活動の自主的行動を促進する。</p> <p>【目標】 補助事業による環境保全活動等への参加者を令和9年度までに延べ3,600人以上にする。</p>
--

2. 概要

<p>秋田県環境基本条例第16条に基づき、民間の団体が地域住民等に対して自主的に行う環境保全活動に要する経費を支援する。</p>
--

3. 根拠法令等

<p>秋田県環境基本条例（平成9年12月26日 条例第60号） 第2次秋田県環境基本計画</p>

4. 実施内容等

<p>○環境あきたエコ活動促進支援事業 県民に対して、民間の団体が自主的に行う環境保全活動に要する経費の助成に係る費用を中間補助事業者に交付し、中間補助事業者の審査を経て、環境保全の普及啓発事業を行う団体に助成を実施した。</p> <table> <tr> <td>事業費内訳</td> <td>： 予算額（補助金）</td> <td>2,000,000円</td> <td>； 実績額</td> <td>1,866,913円</td> </tr> <tr> <td></td> <td>： 予算額（事務費）</td> <td>750,000円</td> <td>； 実績額</td> <td>750,000円</td> </tr> <tr> <td></td> <td>： 予算額（計）</td> <td>2,750,000円</td> <td>； 実績額</td> <td>2,616,913円</td> </tr> </table> <p>NPO等の環境保全団体に対して、次のとおり助成を行い、県民の環境保全の取組み支援及び普及啓発を実施した。</p> <table> <tr> <td>助成団体</td> <td>9団体</td> <td>助成額</td> <td>1,866,913円</td> </tr> </table> <p>取組事例 秋田県自然観察指導員連絡協議会（聴覚障害者を対象に、野鳥の観察会を開催し、自然と親しむ事業を実施） NPO法人秋田パドラーズ（県民ボランティアを募り、雄物川河口海岸線のクリーンアップ活動を実践） 9団体延べ参加人数1,198名程度（常磐小学校児童、能代支援学校生徒、県民及び企業参加者など）</p>	事業費内訳	： 予算額（補助金）	2,000,000円	； 実績額	1,866,913円		： 予算額（事務費）	750,000円	； 実績額	750,000円		： 予算額（計）	2,750,000円	； 実績額	2,616,913円	助成団体	9団体	助成額	1,866,913円
事業費内訳	： 予算額（補助金）	2,000,000円	； 実績額	1,866,913円															
	： 予算額（事務費）	750,000円	； 実績額	750,000円															
	： 予算額（計）	2,750,000円	； 実績額	2,616,913円															
助成団体	9団体	助成額	1,866,913円																

平成31年度 事業報告書

事業名	環境あきたエコ活動促進事業	新規・継続区分	継続
事項名	環境あきたエコ活動促進事業	開始年度	平成31年度
担当部署	環境管理課	終了年度	令和9年度

5. 事業費等

	合計	一般財源等	基金充当額	備考
報償費				
職員旅費				
講師旅費				
印刷製本費				
借料				
委託費				
負担金（補助金）	2,616,913	0	2,616,913	補助金（事務費含む）
合計	2,616,913	0	2,616,913	（単位：円）

年度（単位：千円）	～平成29年度	平成30年度	平成31年度	令和2年度	令和3年度	令和4年度	令和5年度	令和6年度	令和7年度	令和8年度	令和9年度
事業費（単年度）			2,617	2,750	2,750	2,750	2,750	2,750	2,750	2,750	2,750
事業費（累計）		0	2,617	5,367	8,117	10,867	13,617	16,367	19,117	21,867	24,617

6. 進捗状況等

年度	～平成29年度	平成30年度	平成31年度	令和2年度	令和3年度	令和4年度	令和5年度	令和6年度	令和7年度	令和8年度	令和9年度
進捗率（単年度）			33.0%	9.0%	9.0%	8.8%	8.4%	8.0%	8.0%	8.0%	8.0%
進捗率（累計）		0.0%	33.0%	42.0%	51.0%	59.8%	68.2%	76.2%	84.2%	92.1%	100.0%

